

参考データ集

国際石油開発帝石株式会社

2018年(平成30年)5月11日

連結子会社および持分法適用関連会社

連結子会社 64社

主な連結子会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
ジャパン石油開発	アラブ首長国連邦	100%	生産中	3月(仮決算)
JODCO Onshore Limited	アラブ首長国連邦	51%	生産中	12月
JODCO Lower Zakum Limited	アラブ首長国連邦	100%	生産中	12月
サウル石油	チモール海・共同開発地域	100%	生産中	12月
INPEX Ichthys Pty Ltd	オーストラリア	100%	開発中	3月(仮決算)
インベックス南西カスピ海石油	アゼルバイジャン	51%	生産中	3月(仮決算)
インベックス北カスピ海石油	カザフスタン	51%	生産中	3月(仮決算)
INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd	オーストラリア	100%	開発中	12月
INPEX Gas British Columbia Ltd.	カナダ	45.09%	生産中/評価中	12月

持分法適用関連会社 20社

主な持分法適用関連会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
MI Berau B.V.	インドネシア	44%	生産中	12月
Angola Block 14 B.V.	アンゴラ	49.99%	生産中	12月
インベックス北カンボス沖石油	ブラジル	37.5%	生産中	12月
Ichthys LNG Pty Ltd	オーストラリア	62.245%	開発中	3月(仮決算)

セグメント情報

INPEX

2018年3月期(2017年4月1日～2018年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア・オセアニア	ユーラシア (欧州・NIS諸国)	中東・アフリカ	米州	計	調整額 (注1)	連結財務諸表計上額(注2)
売上高	120,059	148,836	88,597	565,243	10,964	933,701	-	933,701
セグメント利益又は損失(△)	25,256	28,405	21,395	305,055	△ 10,656	369,456	△ 12,093	357,363

セグメント資産	303,133	2,343,012	622,221	511,194	57,186	3,836,747	418,818	4,255,565
---------	---------	-----------	---------	---------	--------	-----------	---------	-----------

(注)1 (1)セグメント利益の調整額△12,093百万円は、セグメント間取引消去17百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△12,110百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

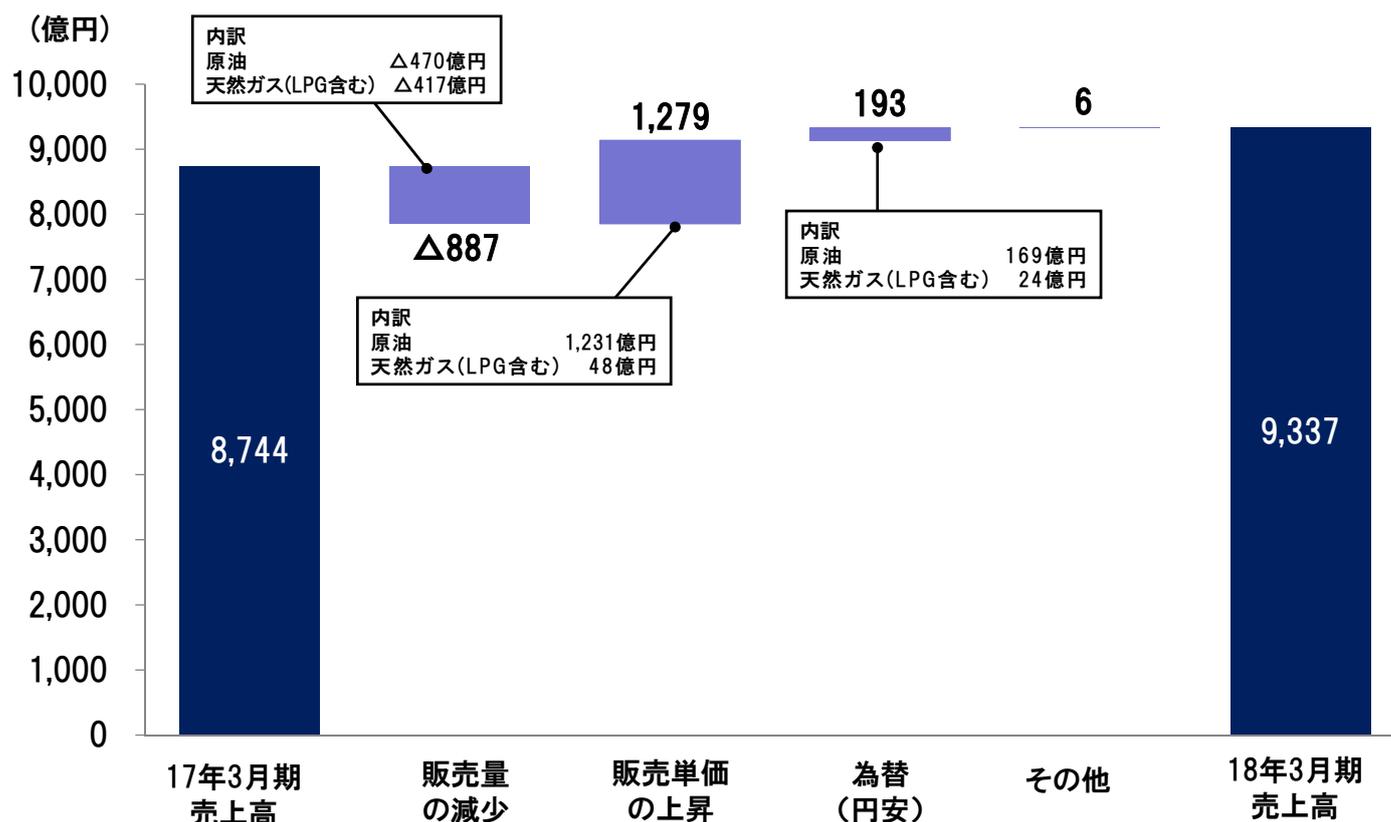
(2)セグメント資産の調整額418,818百万円は、セグメント間取引消去△2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産418,820百万円が含まれております。全社資産の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれん、現金預金、投資有価証券及び管理部門に係る資産であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2

2018年3月期 売上高 増減要因分析

INPEX



3

LPG売上高

	17年3月期	18年3月期	増減	増減率
売上高(億円)	67	60	△ 7	△ 10.8%
販売量(千bbl)	1,860	1,186	△ 674	△ 36.2%
海外生産分平均単価(\$/bbl)	33.93	45.42	11.49	33.9%
国内生産分平均単価(¥/kg)	56.51	75.38	18.87	33.4%
平均為替(¥/\$)	107.34	112.06	4円72銭円安	4.4%円安

地域別販売量(千bbl)	17年3月期	18年3月期	増減	増減率
日本	5 (0.5千ト)	5 (0.5千ト)	0 (+0.0千ト)	2.9%
アジア・オセアニア	1,855	1,181	△ 674	△ 36.3%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	-	-	-	-
合計	1,860	1,186	△ 674	△ 36.2%

4

営業外収益・費用

(億円)	17年3月期	18年3月期	増減	増減率	
営業外収益	390	552	161	41.4%	
受取利息	104	64	△ 39	△ 38.1%	
受取配当金	28	47	19	70.5%	
投資有価証券売却益	49	-	△ 49	-	
持分法による投資利益	21	41	20	92.7%	主にカンガンの引当戻入益
生産物回収勘定引当金戻入益	-	175	175	-	
受取補償金	-	126	126	-	エクアドル共和国 ブロック18鉱区返還に伴う補償金
その他	186	96	△ 89	△ 48.2%	
営業外費用	416	253	△ 162	△ 39.1%	
支払利息	52	70	18	35.3%	
貸倒引当金繰入額	83	-	△ 83	-	
生産物回収勘定引当金繰入額	143	-	△ 143	-	主にナッケ石油株式売却に伴う損失計上の剥落
事業損失引当金繰入額	-	32	32	-	
為替差損	37	104	67	178.6%	
その他	99	45	△ 54	△ 54.4%	

5

利払い・償却・探鉱費前利益(EBIDAX)

(百万円)	17年3月期	18年3月期	増減	備考
親会社株主に帰属する純利益	46,168	40,362	△ 5,806	P/L
非支配株主に帰属する純損益	9,963	△ 42,462	△ 52,425	P/L
減価償却相当額	177,792	153,030	△ 24,762	
減価償却費	91,159	92,805	1,646	C/F コンセッション契約及び販管費に係る減価償却費
のれん償却額	6,760	6,760	-	C/F
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	79,873	53,465	△ 26,408	C/F PS契約に係る減価償却費相当額
探鉱費相当額	21,108	△ 16,201	△ 37,309	
探鉱費	6,734	1,327	△ 5,407	P/L コンセッション契約に係る探鉱費
生産物回収勘定引当金戻入益	-	△ 17,528	△ 17,528	P/L PS契約に係る探鉱費相当額等
生産物回収勘定引当金繰入額	14,374	-	△ 14,374	P/L PS契約に係る探鉱費相当額等
重要な非現金項目	△ 21,965	92,066	114,031	
法人税等調整額	△ 33,227	1,048	34,275	P/L
為替差損益	4,896	11,048	6,152	C/F
減損損失	6,366	79,970	73,604	P/L
税引後ネット支払利息	△ 3,767	430	4,197	P/L 税引後の支払利息－受取利息
EBIDAX	229,299	227,225	△ 2,074	

6

生産物回収勘定の増減推移

(百万円)	17年3月期	18年3月期	備考
生産物回収勘定(期首)	727,771	659,201	
増加:			
探鉱投資	9,461	3,832	主にイラク Block10
開発投資	39,928	16,869	主にACG、カンヤガン
操業費	55,514	37,396	主にACG、カンヤガン、マハカム
その他	6,969	8,551	
減少:			
コスト回収(CAPEX)	79,873	53,465	主にACG、マハカム
コスト回収(Non-CAPEX)	73,414	52,019	主にACG、カンヤガン、マハカム
その他	27,156	31,267	主にナトゥナ(連結除外)
生産物回収勘定(期末)	659,201	589,098	主にカンヤガン
生産物回収勘定引当金	120,543	81,625	

7

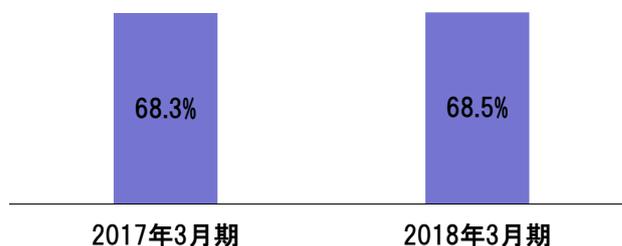
財務指標

INPEX

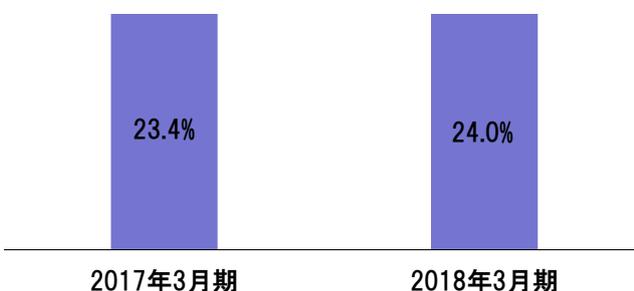
純有利子負債／使用総資本(ネット)*



自己資本比率**



D/Eレシオ***

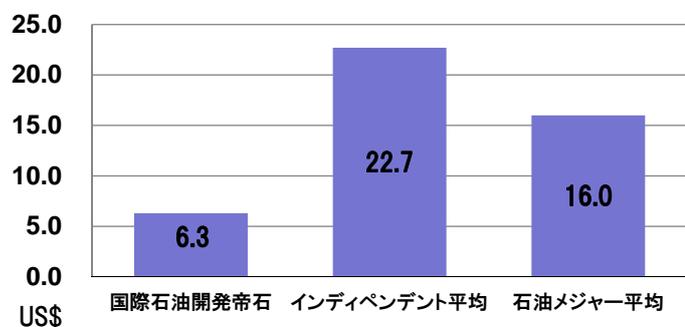


* 純有利子負債／使用総資本(ネット) = (有利子負債 - 現金及び預金 - 国債・地方債・社債等(時価のあるもの) - 長期預金) / (純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金 - 国債・地方債・社債等(時価のあるもの) - 長期預金)
 ** 自己資本比率 = (純資産 - 非支配株主持分) / 総資産
 *** D/Eレシオ = 有利子負債 / (純資産 - 非支配株主持分)

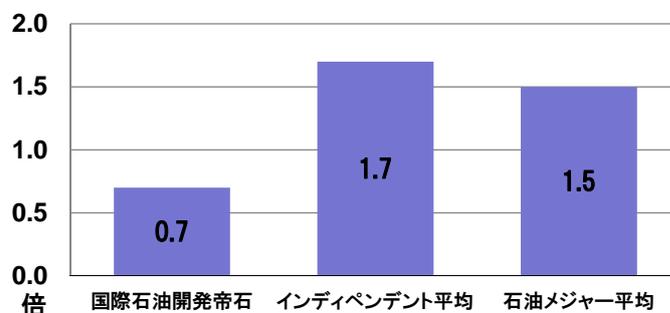
当社Valuation指標

INPEX

EV／確認埋蔵量*



PBR**

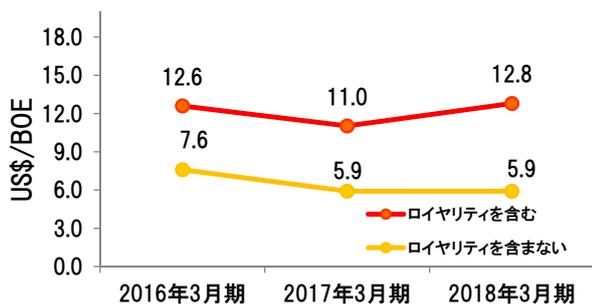


* EV(企業総価値)／確認埋蔵量 = (時価総額 + 総有利子負債 - 預金及び現金同等物 + 非支配株主持分) / 確認埋蔵量。時価総額は2018年3月末時点、財務数値及び確認埋蔵量は、当社は2018年3月末時点、インディペンデント、石油メジャーは2017年12月末時点数値を使用。財務数値、確認埋蔵量は各社開示資料より。
 ** PBR = 株価 / 一株当たり純資産。時価総額は2018年3月末時点、財務数値は当社は2018年3月末時点、インディペンデント、石油メジャーは2017年12月末時点数値を使用。財務数値は各社開示資料より。

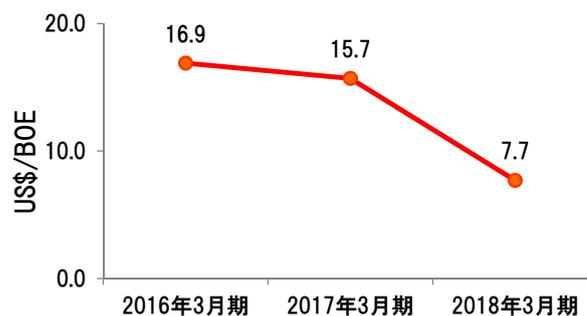
埋蔵量・生産量指標

INPEX

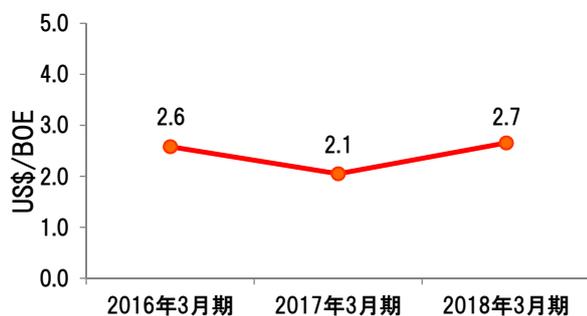
原油換算1バレル当たりの生産コスト*



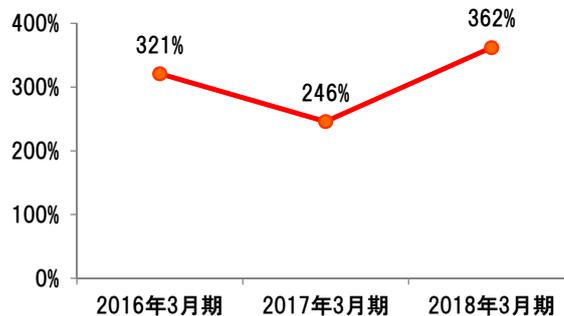
原油換算1バレル当たりの探鉱・開発コスト(3年平均)



原油換算1バレル当たりの販売費及び一般管理費



リザーブリプレースメントレシオ(3年平均)



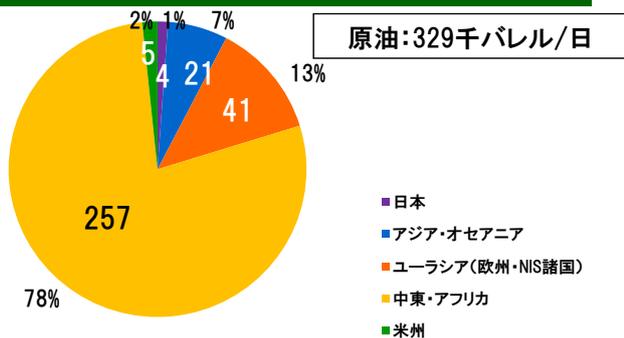
10

*ロイヤリティの見直しに伴い、2016年3月期、2017年3月期の生産コストを修正

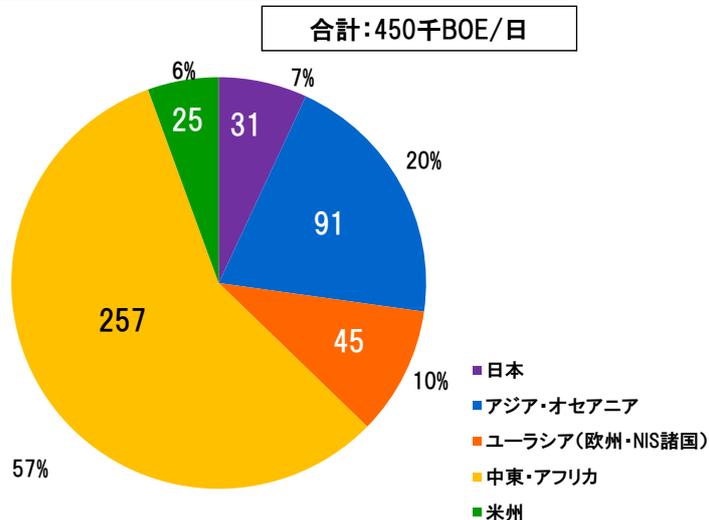
生産量*(2017年4月-2018年3月)

INPEX

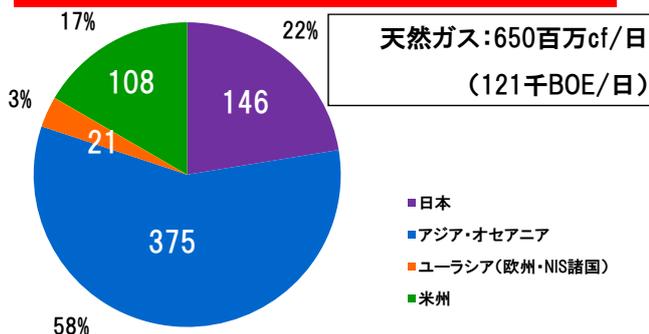
原油・コンデンセート・LPG



原油・天然ガス合計



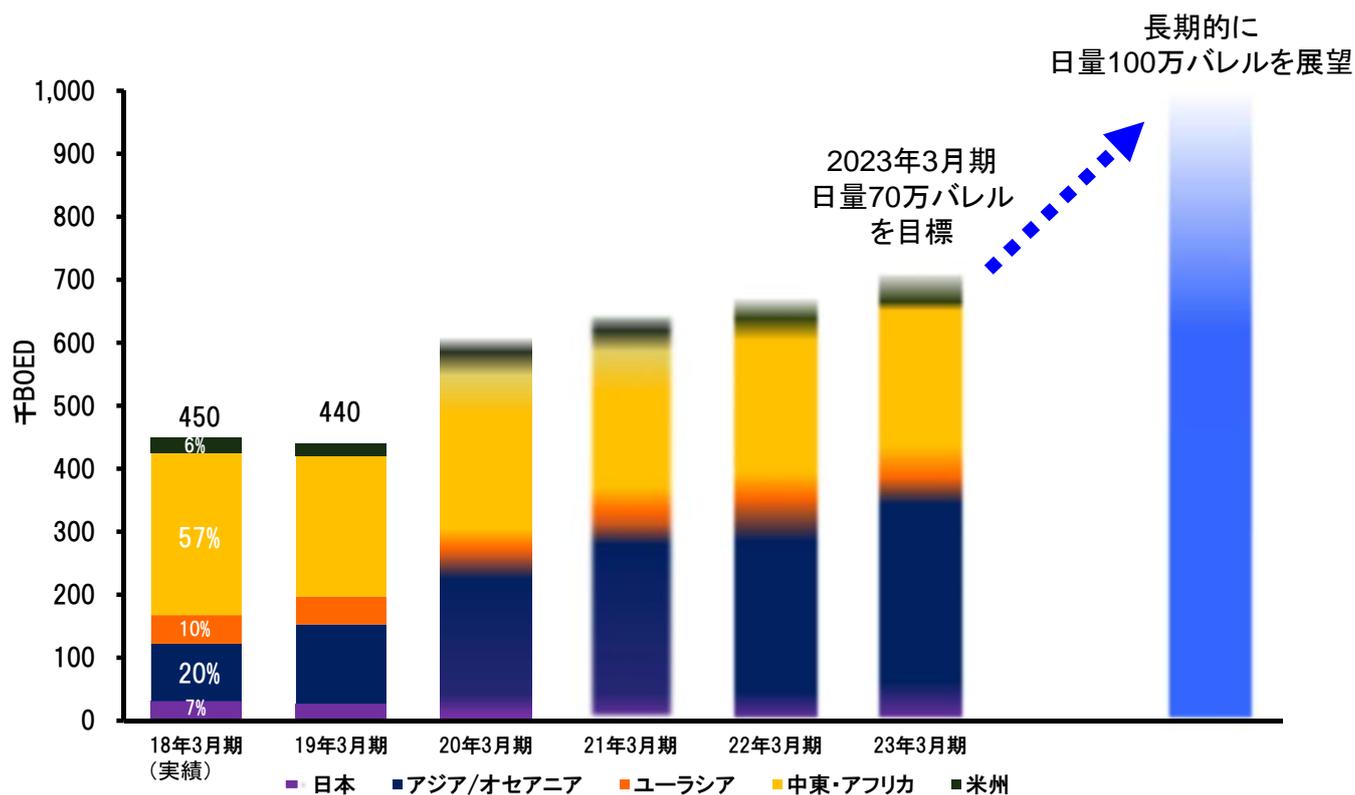
天然ガス



11

* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しています。

ネット生産量長期予測

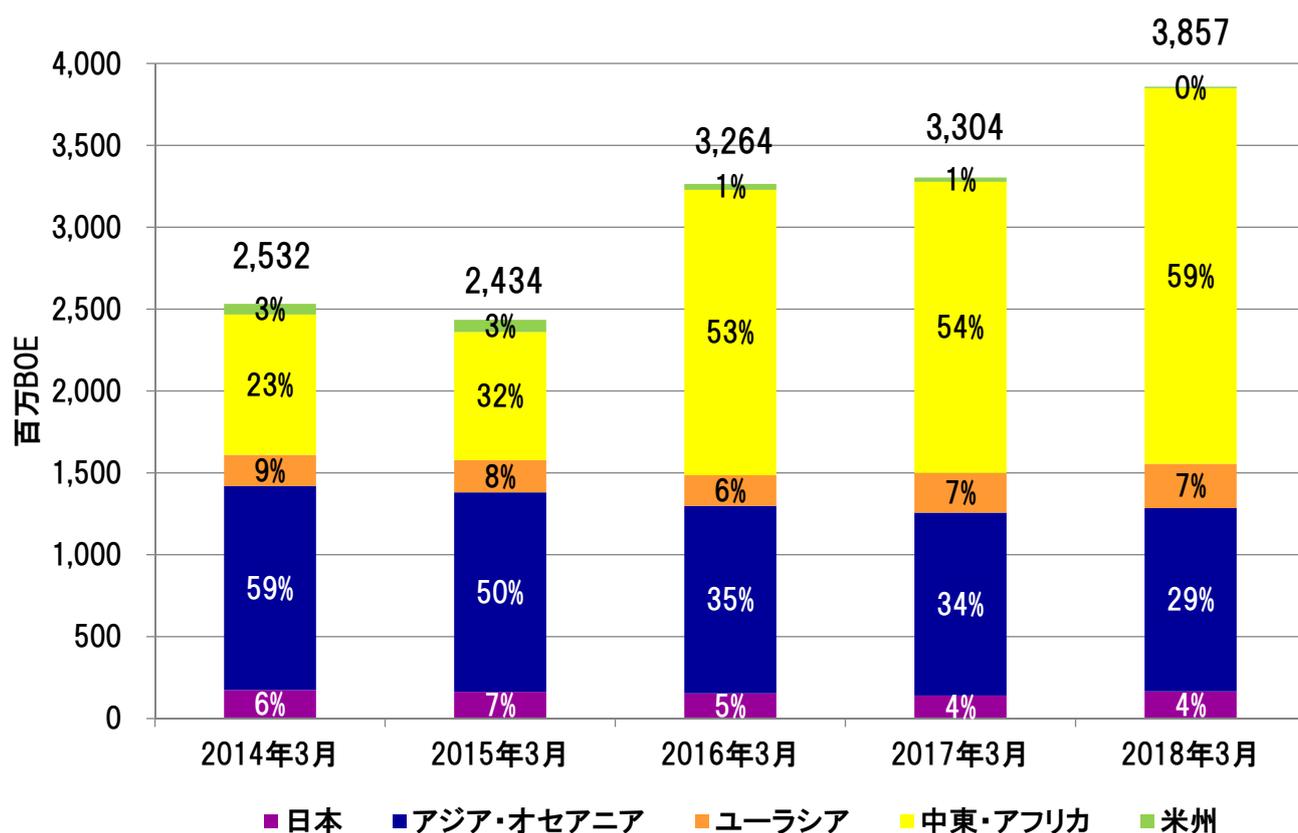


注) ネット生産量予測におけるブレント油価前提については、中計経営計画と同様50~70\$/bblのレンジで推移すると想定しております。

* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しています。

** ネット生産量は、原油・天然ガス価格、プロジェクトの状況により変動します。

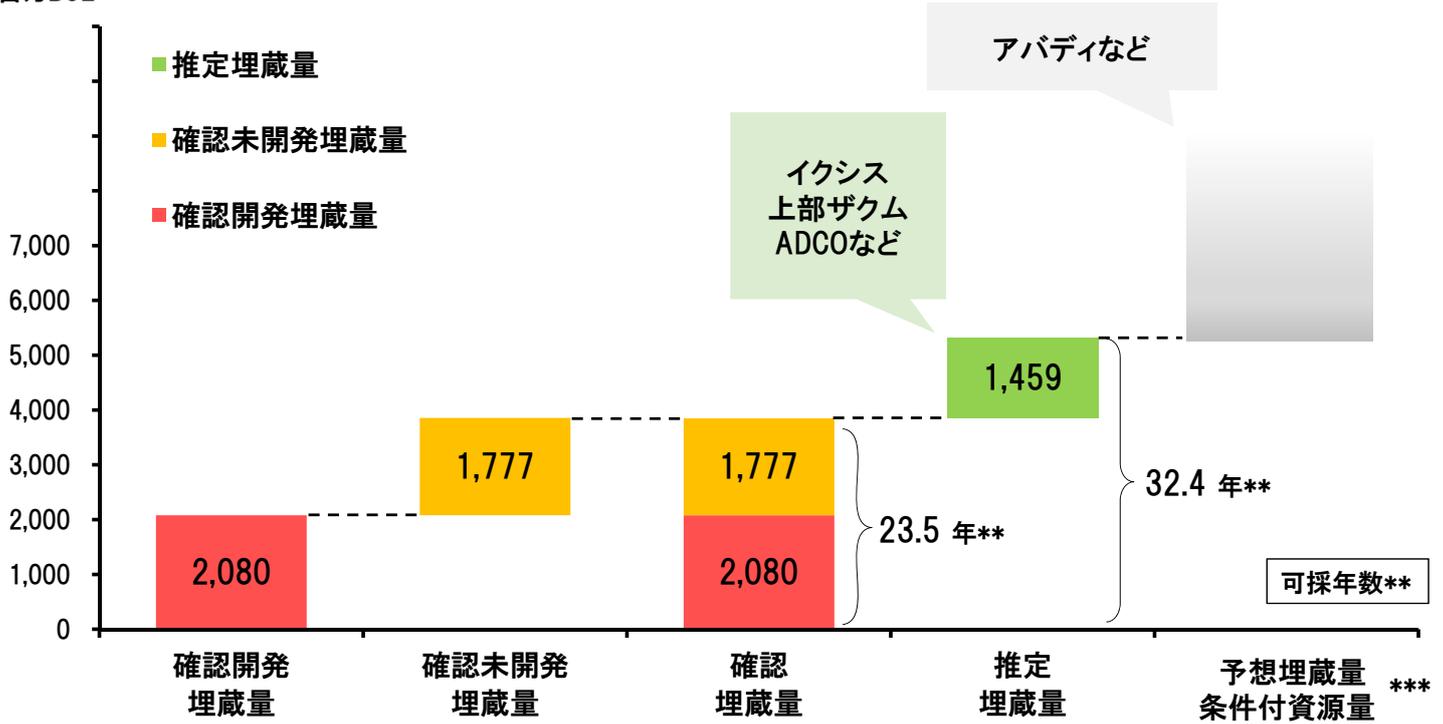
地域別確認埋蔵量*



* 確認埋蔵量の定義は、54ページに記載しております。

確認・推定埋蔵量等*による アップサイドポテンシャル

百万BOE



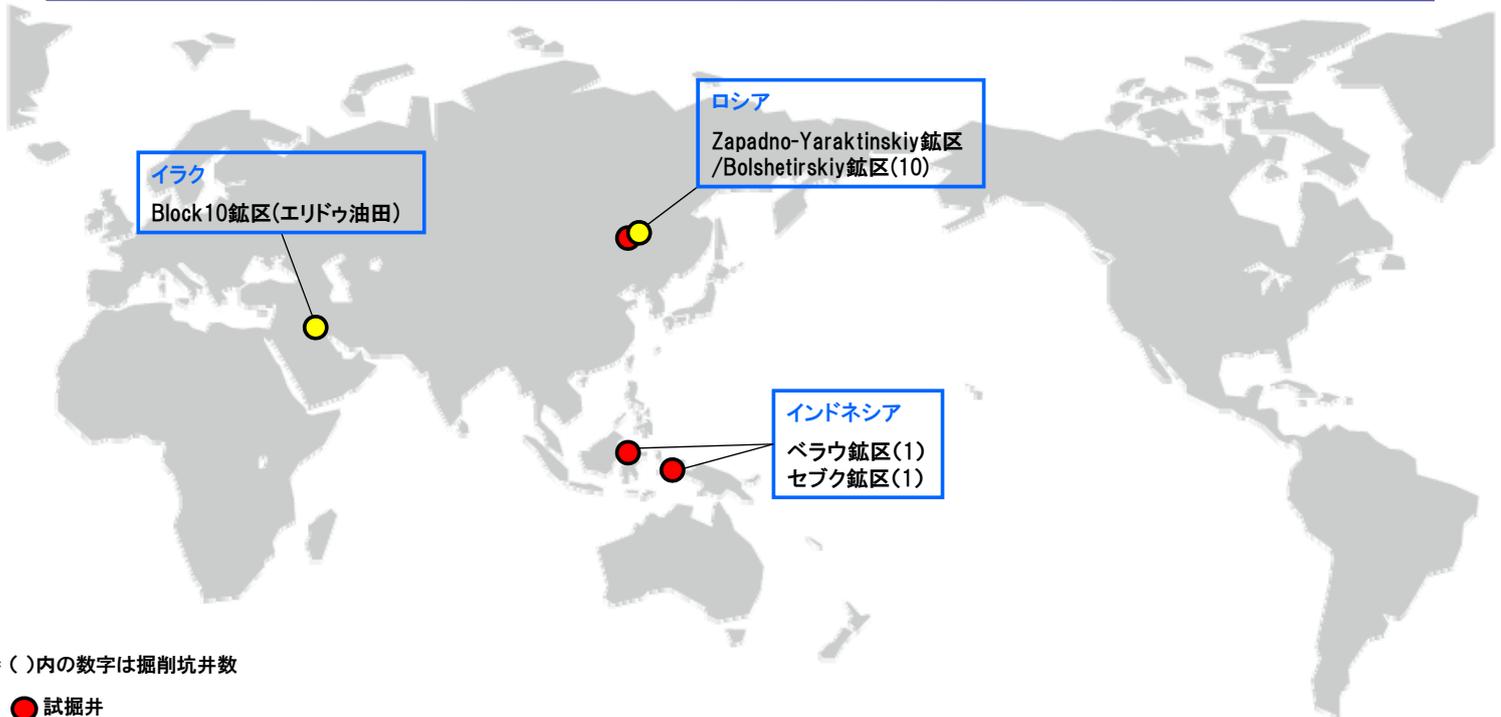
* 確認埋蔵量及び推定埋蔵量の定義は、54、55ページに記載しております。

** 可採年数=2018年3月末「確認埋蔵量」、「推定埋蔵量」/2018年3月期生産実績

*** 予想埋蔵量及び条件付資源量は当社による推定値です。予想埋蔵量はSPE-PRMSの基準に則り評価しています。条件付資源量は、SPE-PRMSの基準によれば、潜在的に回収可能と見込まれる炭化水素量の推定値ですが、現段階では諸条件により経済的に回収可能であると判断することができない資源量を指します。

プロジェクト参考データ

2019年3月期 探鉱計画*



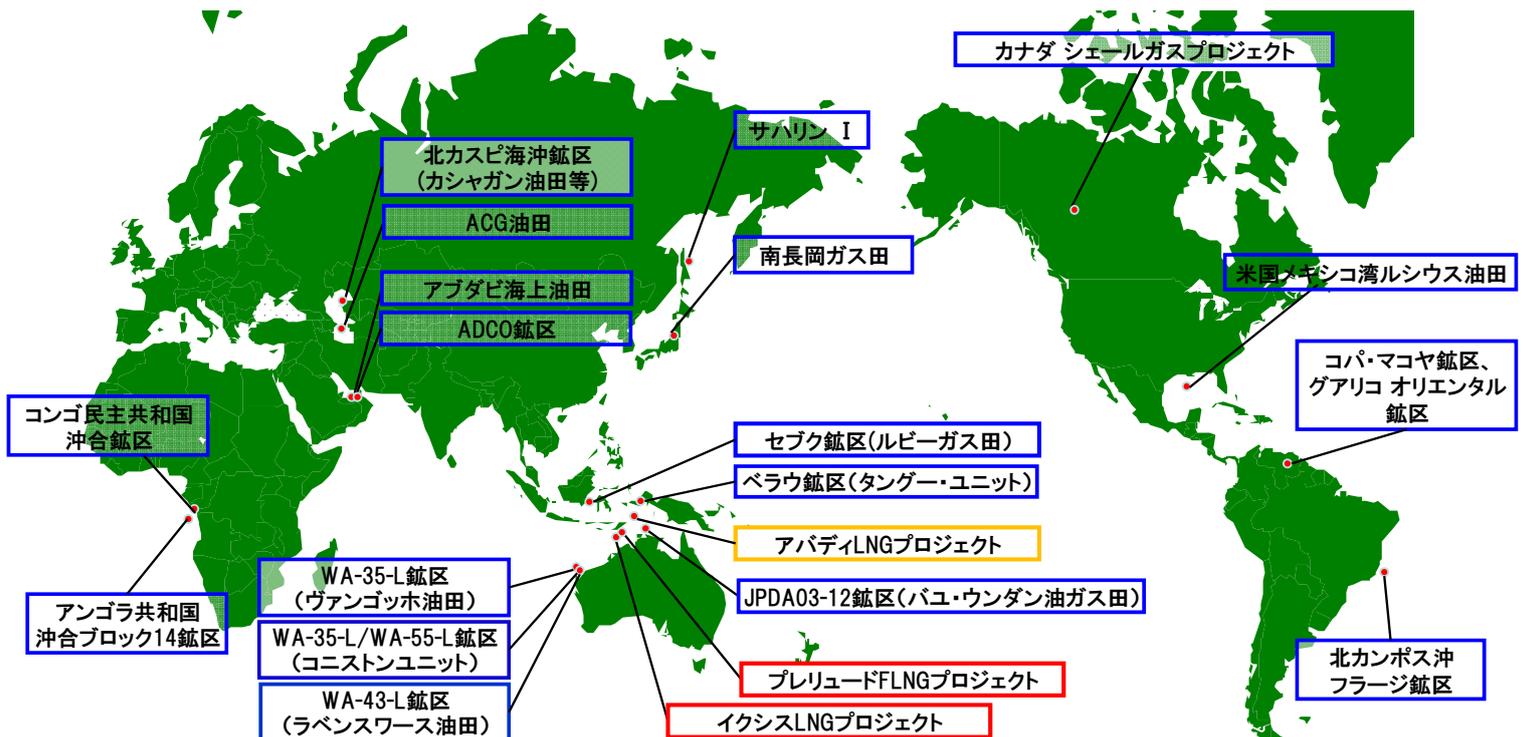
* ()内の数字は掘削坑井数

- 試験井
- 探掘井

** 評価井については開示しておりません。
また、守秘義務等の関係上、具体的な探鉱計画
を開示していないプロジェクトもあります

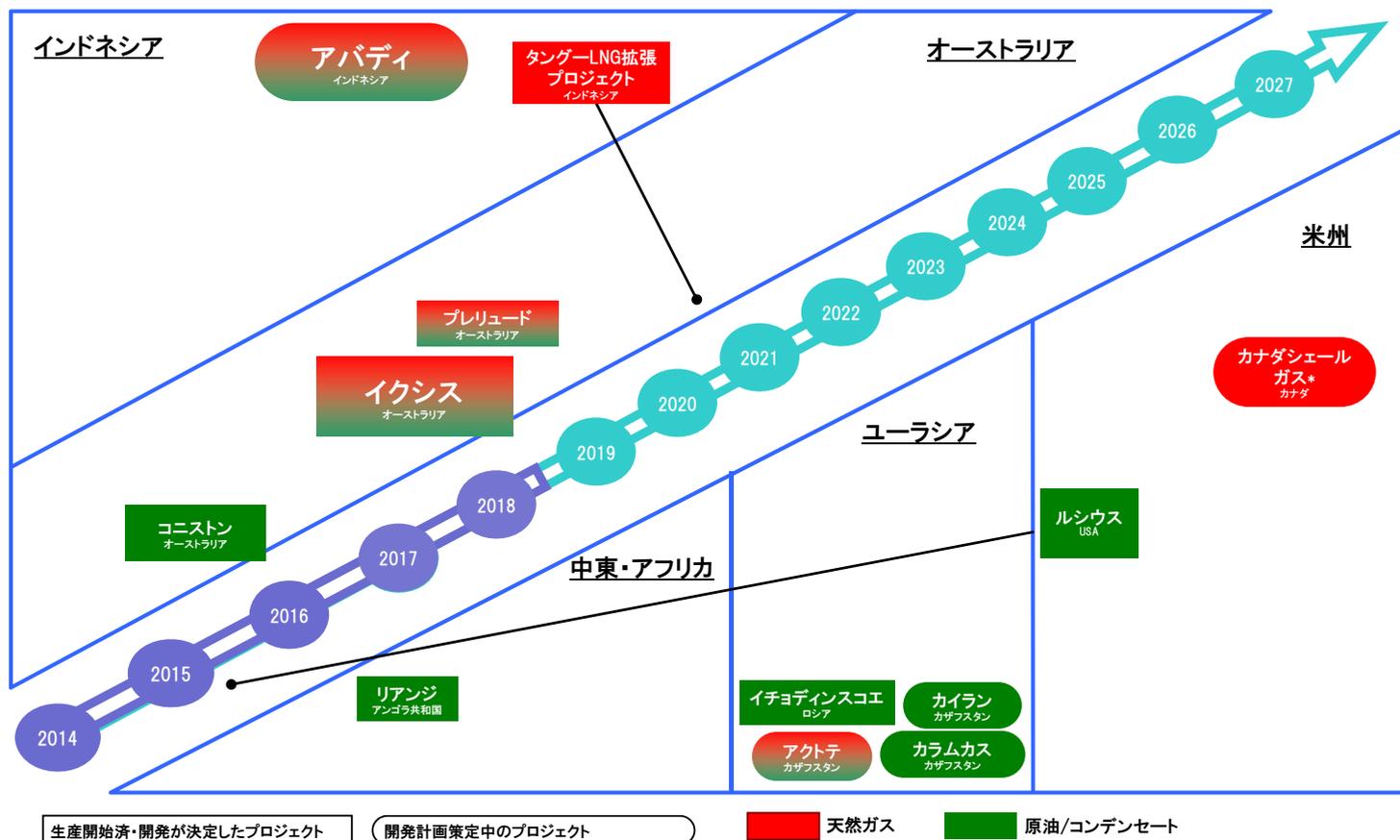
	探鉱投資額 (億円)	試験井 (坑)	探掘井 (坑)	2D震探 (km)	3D震探 (km ²)
2018年3月期(実績)	49	0	9	3,842	3,483
2019年3月期(予想)	130	5	7	12,190	78

主な生産・開発プロジェクト



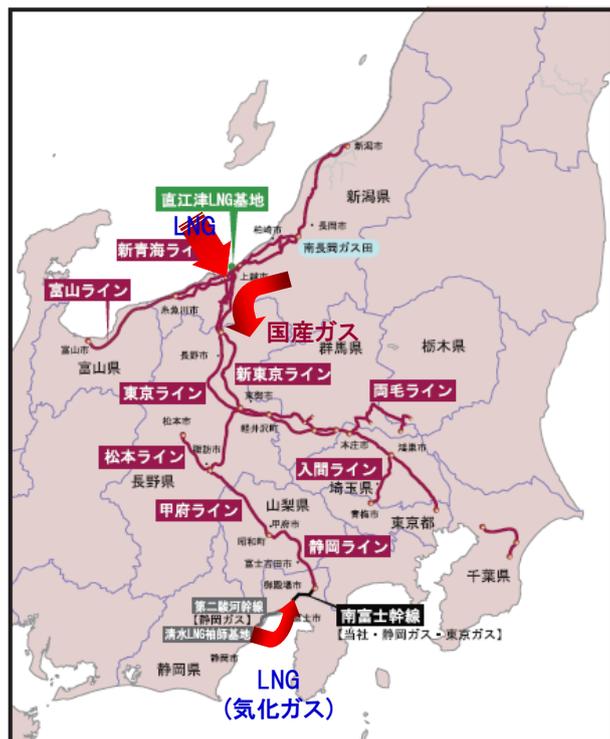
■ 生産中 ■ 開発中 ■ 開発準備作業中

生産開始スケジュール



18 * 一部生産中

国内天然ガス事業



- 生産量*
 - ・天然ガス: 約3.9百万m³/日 (146百万立方フィート/日)**
 - ・原油・コンデンセート: 約4千バレル/日
- 天然ガス販売状況
 - ・2018年3月期販売量: 21.2億m³ **
 - ・2019年3月期販売量見通し: 22.1億m³**
 - ・2020年代前半に25億m³、長期的に年間30億m³の供給見通し
- ガスサプライチェーンの構築
 - ・2013年12月、直江津LNG基地の商業運転開始
 - ・2016年6月、富山ライン完成

* 国内油田・ガス田の合計(2018年3月期平均日産量)
 ** 1m³当たり41.8605MJ換算

セブク鉱区(ルビーガス田) インペックス南マカッサル石油

INPEX



- 当社権益比率: 15%
(オペレーター: PEARLOIL (Mubadala))
- 生産量*
天然ガス**: 日量約105百万立方フィート
- PS契約: 2027年まで
- 2010年9月、オペレーターであるPEARLOILと締結した権益譲渡契約のインドネシア政府承認を取得
- 2011年6月、開発移行決定
- 海上生産施設よりマハカム鉱区既存陸上施設へ海底パイプラインにより繋ぎ込み
- 生産ガスの大部分をインドネシア国内肥料工場向けに供給
- 2013年10月、生産開始

* 全鉱区ベース、2018年3月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

20

ベラウ鉱区(タンゲーLNGプロジェクト) MI Berau B.V./MIベラウジャパン

INPEX



- MI Berau/MIベラウジャパン*:
三菱商事とのJV(当社44%、三菱商事56%)
*MIベラウジャパンはケージーベラウ石油開発に約16.5%出資
- 権益比率:
・MI Berau: タンゲー・ユニット 16.3%
・ケージーベラウ石油開発: タンゲー・ユニット 8.56%
(オペレーター: BP)
- 生産量*
・コンデンセート: 日量約5千バレル
・天然ガス**: 日量約985百万立方フィート
- PS契約: 2035年まで
- LNG生産量: 年間760万トン
- 2009年7月、LNG販売開始
- 2016年7月、拡張プロジェクト(年間380万トンの生産能力を有する第三液化系列を増設)の最終投資決定

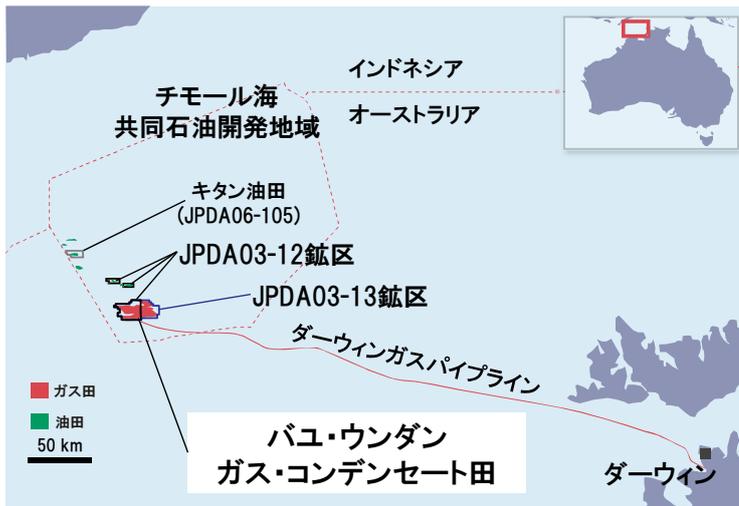
* 全鉱区ベース、2018年3月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

21

バユ・ウンダン ガス・コンデンセート田(JPDA03-12/03-13鉱区) サウル石油

INPEX



- 当社権益比率: 11.378120%
(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量*
 - ・ コンデンセート: 日量約1.0万バレル
 - ・ LPG: 日量約0.8万バレル
 - ・ 天然ガス**: 日量約590百万立方
フィート
- PS契約: 2022年まで
- 2004年2月、コンデンセート/LPG販売開始
- 2005年8月、東京電力(現JERA)/東京
ガスとLNG販売契約締結(2006年から17
年間、年間300万トン)
- 2006年2月、LNG販売開始

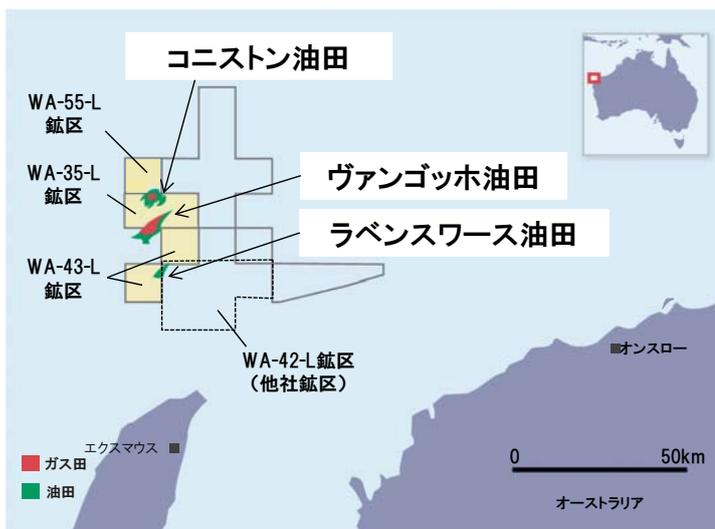
* 全鉱区ベース、2018年3月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

22

ヴァンゴッホ油田/コニストン油田及びラベンスワース油田 アルファ石油

INPEX



ヴァンゴッホ油田(WA-35-L)/コニストン油田 (WA-35-LおよびWA-55-L鉱区)

- 当社権益比率: 47.499%
(オペレーター: Quadrant Energy)
- 利権契約: 生産終了まで
- 生産量*: 原油: 日量約7千バレル
- 2010年2月、ヴァンゴッホ油田にて原油生産
開始
- 2015年5月、コニストン油田にて原油生産開
始
- 2016年7月、コニストン油田ノバラ構造にて原
油生産開始

ラベンスワース油田(WA-43-L鉱区)

- 当社権益比率: 28.5%
(オペレーター: BHPBP)
- 生産量*: 原油: 日量約7千バレル
- 利権契約: 生産終了まで
- 隣接するWA-42-L鉱区の生産施設への繋
ぎ込みによる開発
- 2010年8月、生産開始

* 全鉱区ベース、2018年3月平均日産量

23

イクシスLNGプロジェクト 概要

- マーケティング:

- ✓ LNG: 年産840万トン分売買契約締結済
- ✓ LPG: 当社権益全量等の売買契約締結済

- 主要許認可:

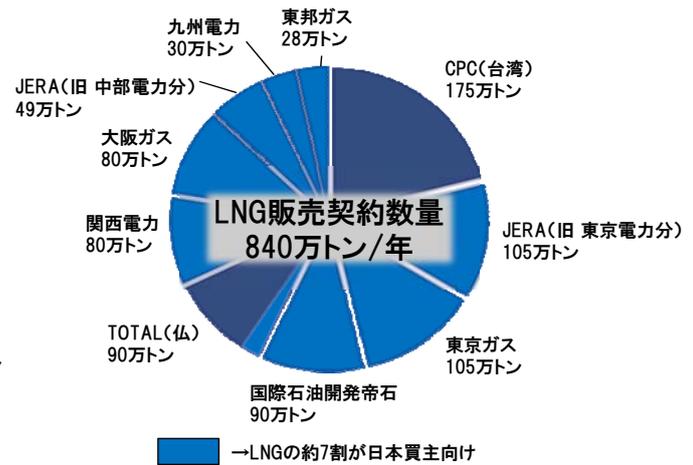
- ✓ 環境、ガス輸送パイプラインのライセンス、生産ライセンス等全て取得済

- ファイナンス:

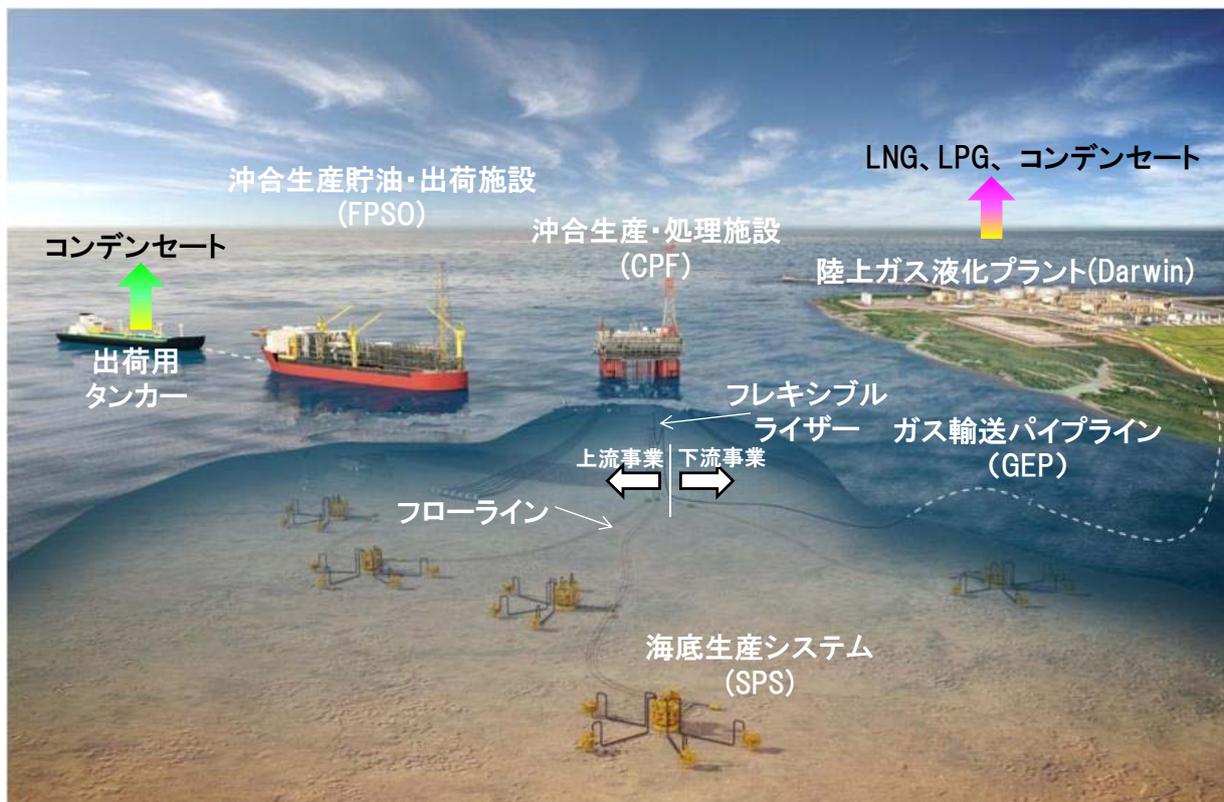
- ✓ 2012年12月、総額200億米ドルのプロジェクトファイナンスに係る融資関連契約に調印

- 開発作業: 主要EPC契約締結済

- 上流事業** 沖合生産・処理施設(CPF): Samsung Heavy Industries(韓)
 沖合生産貯油・出荷施設(FPSO): Daewoo Shipbuilding & Marine Engineering (韓)
 海底生産システム(SPS): GE Oil & Gas(米)
 フローライン、フレキシブルライザーなどの接続作業等: McDermott(米)
- 下流事業** 陸上LNGプラント: 日揮、千代田化工、KBR社(米)の企業連合
 ガス輸送パイプライン(GEP): Saipem(伊)・三井物産・住友商事・メタルワン
 ダーウィン湾内浚渫作業: Van Oord(蘭)
 計装・制御システム: 横河電機(上流施設も含む)

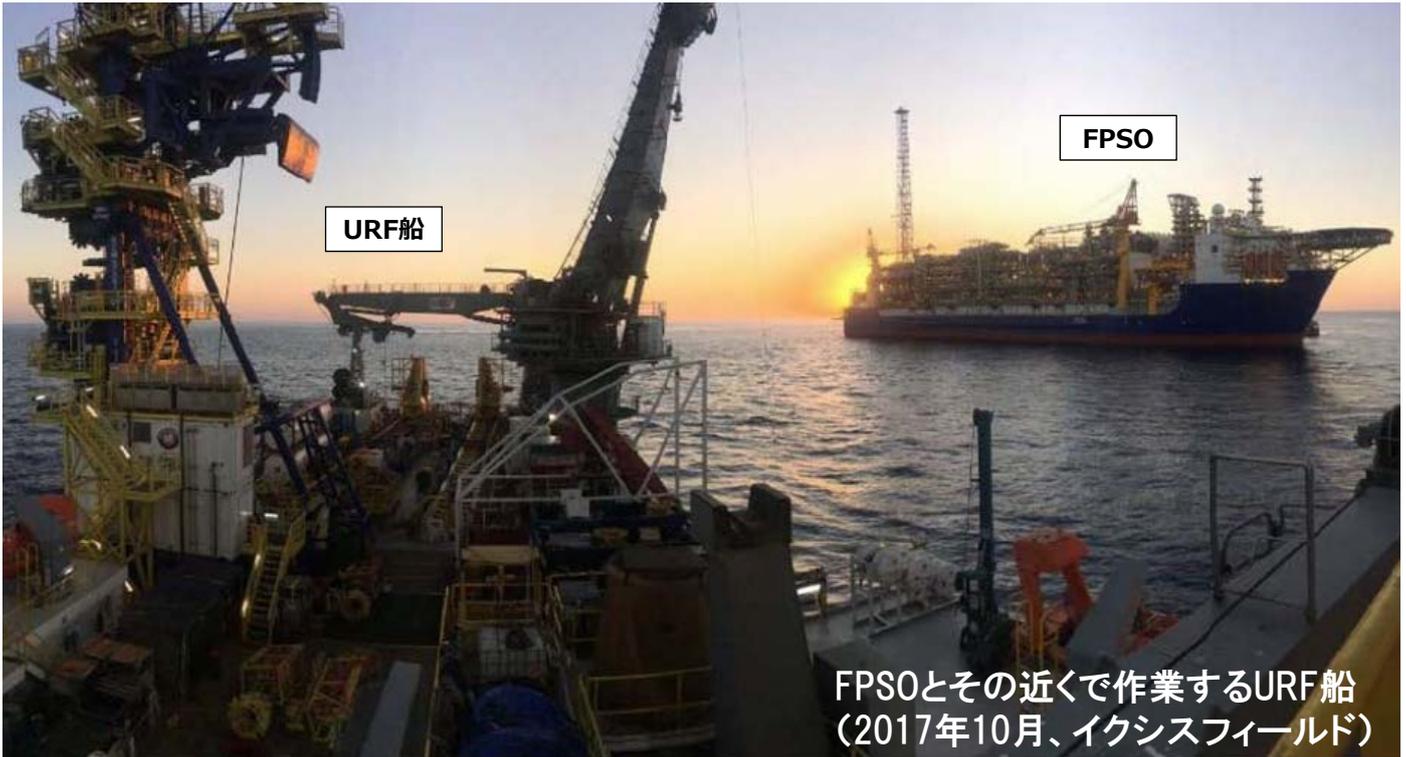


イクシスLNGプロジェクト 開発コンセプト



イクシスLNGプロジェクト 沖合施設の進捗①

INPEX



26

イクシスLNGプロジェクト 沖合施設の進捗②

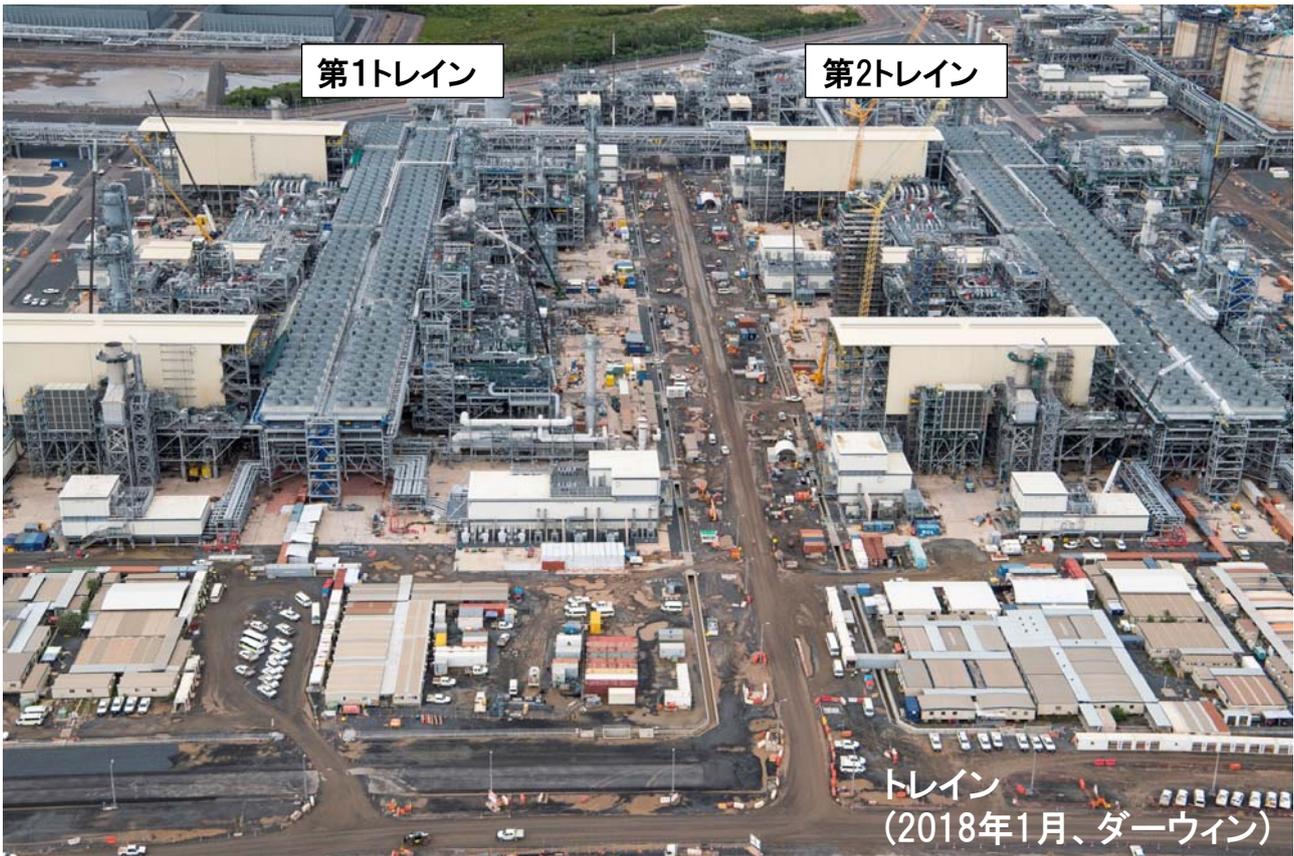
INPEX



27

イクシスLNGプロジェクト 陸上施設の進捗①

INPEX



28

イクシスLNGプロジェクト 陸上施設の進捗②

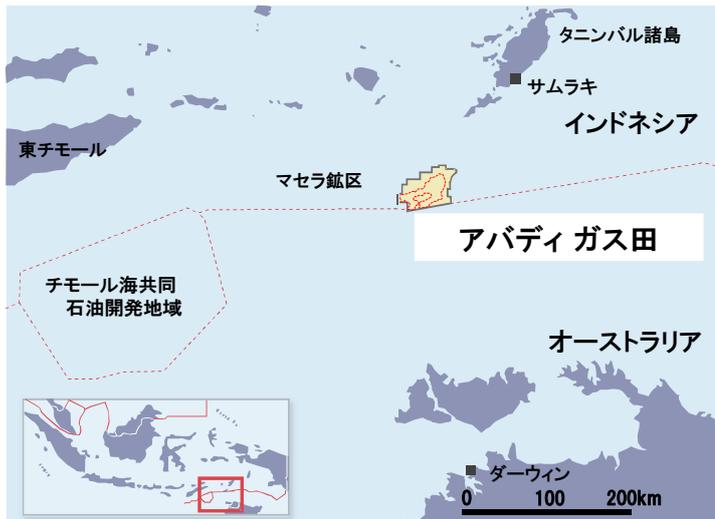
INPEX



29

アバディLNGプロジェクト

INPEX



- 権益比率: 当社(オペレーター)65%、Shell35%
- 開発準備中

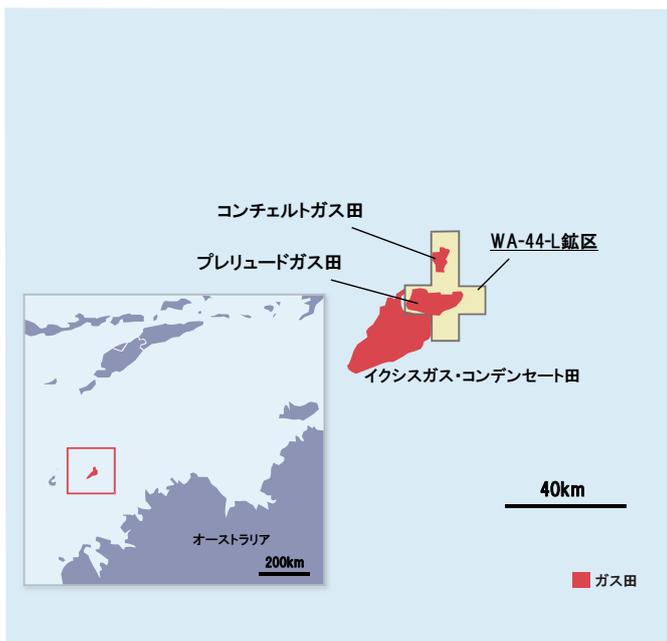
- 2016年4月、インドネシア政府当局より陸上LNGによる開発計画の再検討を求める内容の通知を受領
- インドネシア政府とのこれまでの建設的な協議結果を踏まえ、2018年3月から年産950万トン規模を想定する陸上LNGのPre-FEED(概念設計)作業を実施中
- 2017年6月にインドネシア政府からNational Strategic Projectに、更に9月にはPriority Infrastructure Projectに認定
- Shellとの戦略的パートナーリング
 - Shellによる技術・人的支援の有効活用
- 生産分与契約に基づき10%の参加権益をインドネシア政府の指定するインドネシア企業に譲渡する予定
- PS契約: 2028年まで

30

プレリウドFLNGプロジェクト

INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd

INPEX



- 権益比率: 17.5%(オペレーター: Shell)
- 埋蔵量: 天然ガス約3兆cf (プレリウドガス田およびコンチェルトガス田)
- 生産量:
 - ・LNG 年間360万トン
 - ・LPG 年間約40万トン
 - ・コンデンセート 日量約3.6万バレル(ピーク時)
- 2011年5月に最終投資決定
- 2017年6月、FLNG船が建設ヤードの韓国ゴジェから出航し、7月に現場海域へ到着
- 係留作業が完了し、試運転を実施中
- 当社権益相当分年間約63万トンのLNGの売買について、JERA(年間約56万トン)、静岡ガス(年間約7万トン)それぞれと合意

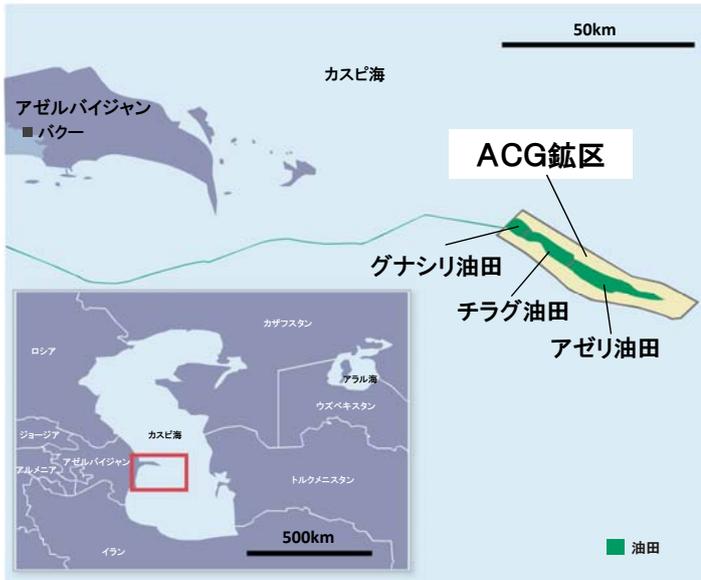


31

FLNG船

ACG油田 インペックス南西カスピ海石油

INPEX

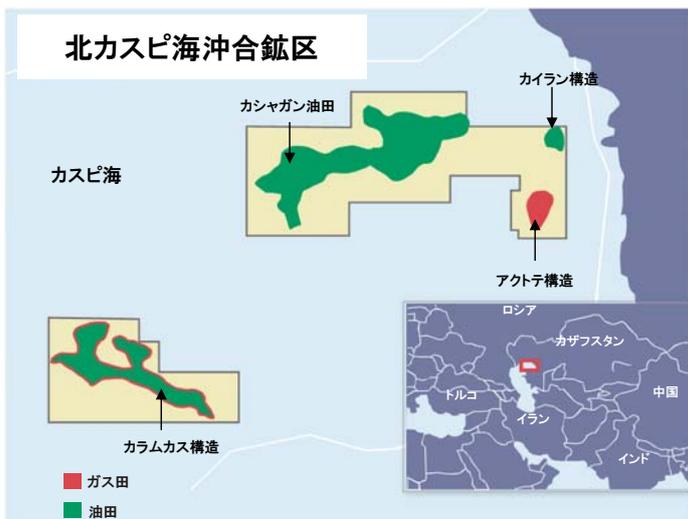


- 当社権益比率：9.3072%*
(オペレーター:BP)
- 生産量：日量約58.8万バレル**
- PS契約：2049年まで***
- チラグ油田：1997年生産開始
- アゼリ油田中央部：2005年2月生産開始
- アゼリ油田西部：2005年12月生産開始
- アゼリ油田東部：2006年10月生産開始
- グナシリ油田深海部：2008年4月生産開始
- チラグ油田西部：2014年1月生産開始

* PS契約延長に伴い、当社権益比率は9.3072%へ変更。
延長PS契約は2018年1月1日発効。
** 全鉱区ベース、2017年平均日産量。
*** 2017年に、PS契約の2049年末までの延長が合意された。

カシャガン油田ほか インペックス北カスピ海石油

INPEX



- 当社権益比率: 7.56%(オペレーター: NCOC(North Caspian Operating Company))
- PS契約: カシャガン油田 - 2021年末まで*
- 原油生産量**: 日量約26.8万バレル。
- 早期に生産量日量37万バレルまでの引き上げを目指している。
- 2016年10月より原油出荷を開始
- カラムカス構造は隣接鉱区との共同開発の可能性を検討中
- アクトテ/カイルンの2構造の評価期間を5年間延長して開発シナリオ検討を継続することについて、カザフスタン政府と基本合意。

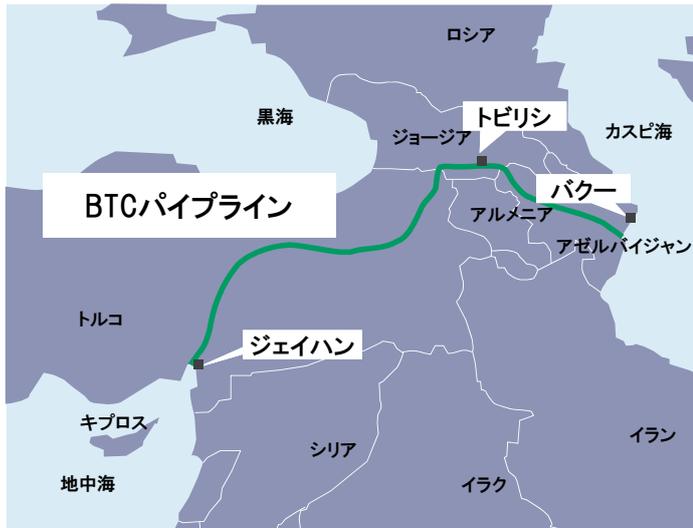
*現行のPSA条件にて10年×2回の延長(2041年まで)が可能

**全鉱区ベース、2018年3月平均日産量
3月20以降に実施された坑井補修作業およびその準備作業による減産を含む。

BTC(BakuTbilisiCeyhan)パイプラインプロジェクト

INPEX BTC Pipeline, Ltd.

INPEX



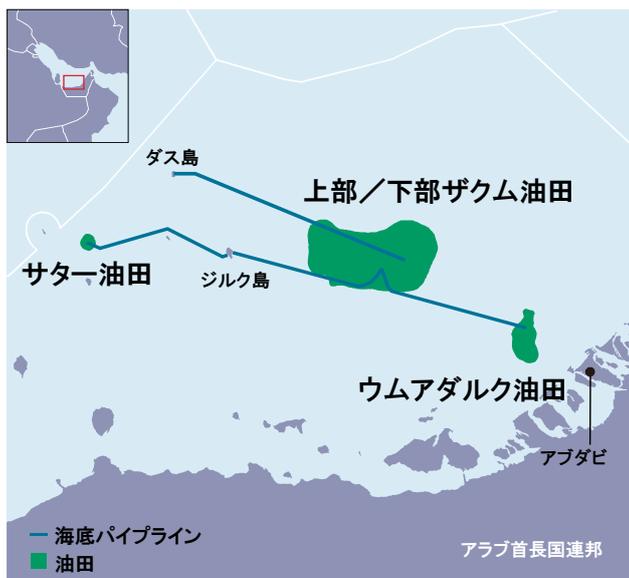
- 当社権益比率：2.5%(オペレーター:BP)
- 通油量：日量約69万バレル*
- 2002年10月、当社、参加権益2.5%取得
- 2006年6月、ジェイハンターミナルから原油出荷開始
- 2009年3月、輸送能力日量120万バレルまでの拡張作業を完了
- 2010年9月13日、累計10億バレル出荷を達成
- 2014年8月11日、累計20億バレル出荷を達成

* 2017年平均通油量

34

アブダビ海上油田

ジャパン石油開発(JODCO) / JODCO Lower Zakum Limited **INPEX**



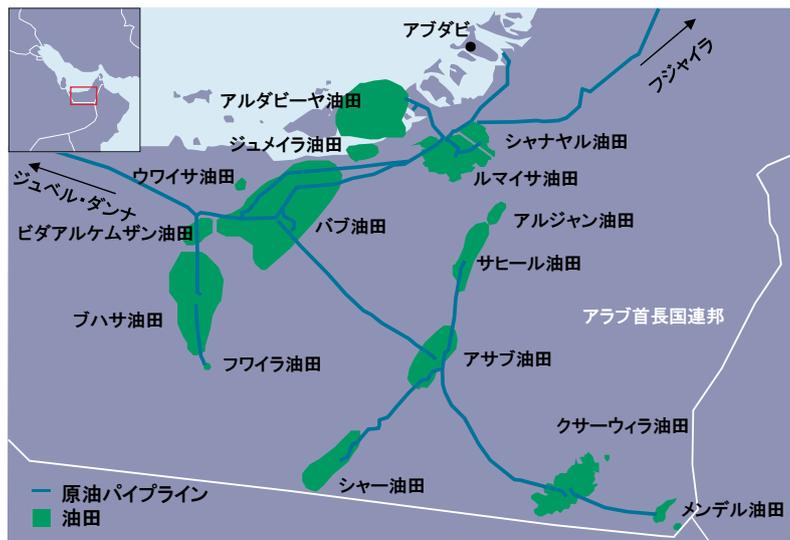
- 上部ザクム油田(JODCO)
 - 当社権益比率：12%(オペレーター：ADNOC Offshore)
 - 利権契約：2051年まで
- 下部ザクム油田 (JODCO Lower Zakum Limited)
 - 当社権益比率：10%(オペレーター：ADNOC Offshore)
 - 利権契約：2058年まで
- サター油田・ウムアダルク油田(JODCO)
 - 当社権益比率：40%(オペレーター：ADNOC Offshore)
 - 利権契約：2043年まで

35

ADCO 鉦区

JODCO Onshore Limited

INPEX



- 当社権益比率:5%
(オペレーター:ADNOC Onshore*)

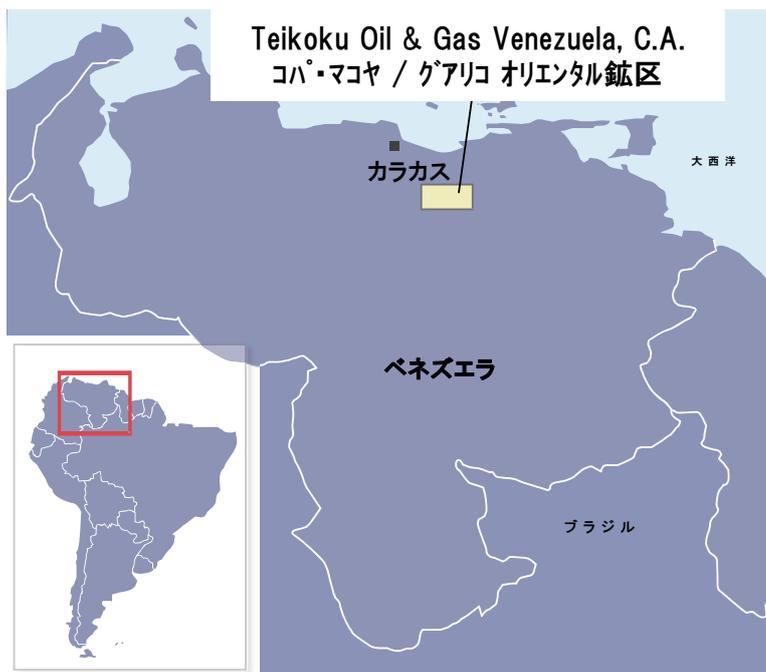
- 利権契約:2054年まで

*権益保有者が株主である操業会社。JODCO Onshore Limitedから5%を出資。

ベネズエラ プロジェクト

Teikoku Oil & Gas Venezuela, C.A.ほか

INPEX



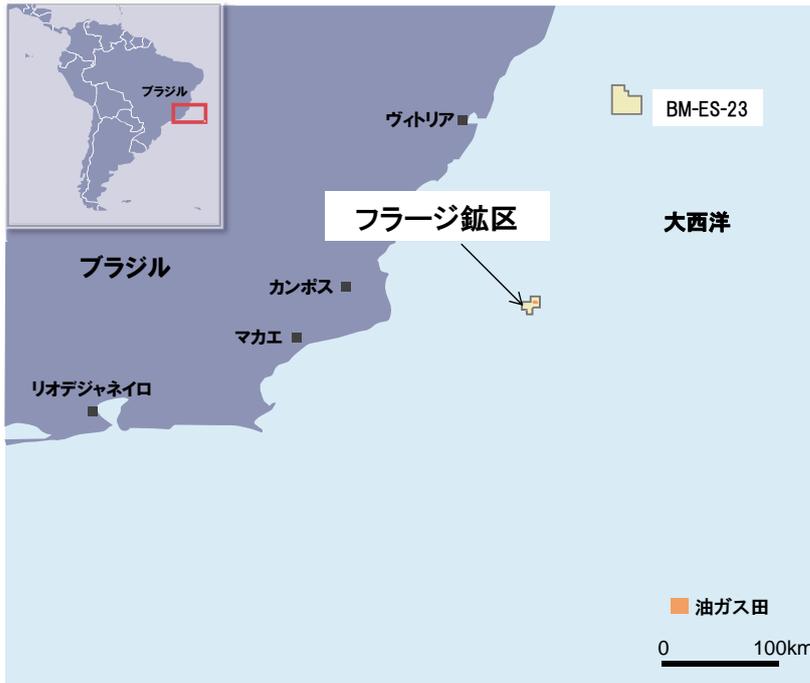
- コパ・マコヤ (ガス事業)/
グアリコ オリエンタル鉦区(原油事業)
- ジョイントベンチャー出資比率
 - ・ ガス事業:70%、原油事業:30%
 - ジョイントベンチャー契約
 - ・ 2006-2026年
 - 生産量*
 - ・ 原油: 日量約0.5千バレル
 - ・ 天然ガス**: 日量約77百万立方フィート

* 全鉦区ベース、2018年3月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

ブラジル プロジェクト フラージ鉱区ほか

INPEX



フラージ鉱区(Frade Japã o Petr ó leo Limitada (FJPL))

- 権益比率: FJPL*18.3% (オペレーター: Chevron)

*当社持分法適用関連会社インペックス北カンポス沖石油(株)の子会社(当社はインペックス北カンポス沖石油(株)の37.5%の株式を保有)

- 生産量**:

- 原油: 日量約1.8万バレル
- 天然ガス***: 日量約1百万立方フィート

- コンセッション契約: 2025年まで(2041年までの延長可能)

BM-ES-23鉱区

- 当社権益比率: 15%(オペレーター: Petrobras)

- コンセッション契約: 2020年まで

- 探鉱(評価)作業中

** 全鉱区ベース、2018年3月平均日産量

*** 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

38

カナダ シェールガスプロジェクト

INPEX Gas British Columbia Ltd.

INPEX



- 権益比率: 40%* (オペレーター: Nexen)

* INPEX Gas British Columbia Ltd. (出資比率: 当社45.09%、JOGMEC44.89%、日揮(株)のカナダ法人子会社 10.02%)の権益比率。

- 生産量**

- 天然ガス***: 日量約63百万立方フィート

- コンセッション契約



フラクチャリング作業現場

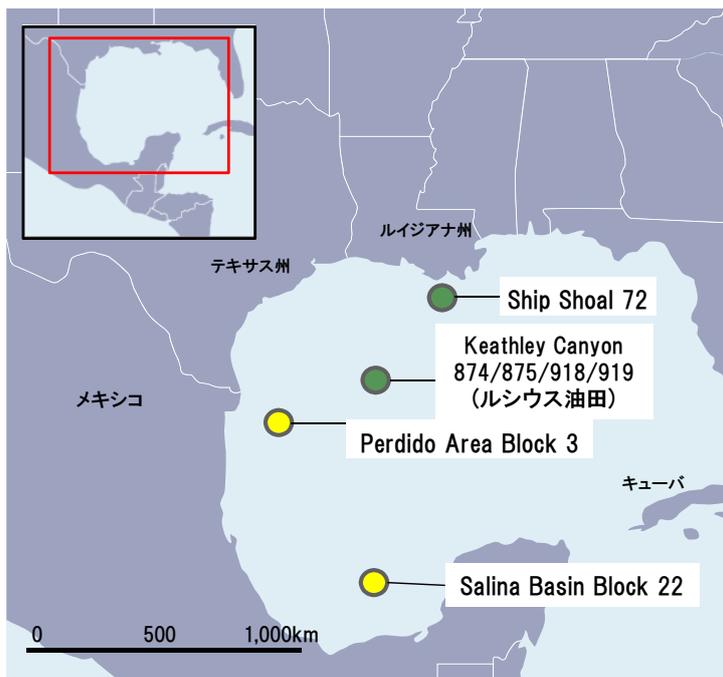
** 全鉱区ベース、2017年平均日産量

*** 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

39

メキシコ湾周辺 プロジェクト

Teikoku Oil (North America) Co., Ltd. / INPEX E&P Mexico, S.A. de C.V. **INPEX**



ルシウス油田

(Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.)

- コンセッション契約
- 当社権益比率:7.75309% (オペレーター: Anadarko)
- 2015年1月 原油及び天然ガスの生産開始
- 2017年9月に、ルシウス油田とルシウス油田の南側に位置するハドリアンノース(HN)油田のプロジェクトパートナーはユニタイゼーションに係る改定UPA (Unit Participating Agreement)を締結
- 2019年HN油田より生産開始予定
- 生産量*
 - 原油: 日量約4.1万バレル
 - 天然ガス**: 日量約31百万立方フィート

浅海海域鉱区

(Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.)

- コンセッション契約
- 当社権益比率 Ship Shoal 72 : 25%

メキシコ領メキシコ湾北部海域 Block3鉱区

(INPEX E&P Mexico, S.A. de C.V.)

- ライセンス契約
- 当社権益比率: 33.3333% (オペレーター:Chevron)
- 2017年2月28日にライセンス契約へ調印、現在探鉱作業中

メキシコ領メキシコ湾南部海域 Block22鉱区

(INPEX E&P Mexico, S.A. de C.V.)

- ライセンス契約
- 当社権益比率: 35% (オペレーター:Chevron)
- 2018年1月31日、Chevron、Pemexと共同落札
- 2018年5月ライセンス契約へ調印予定

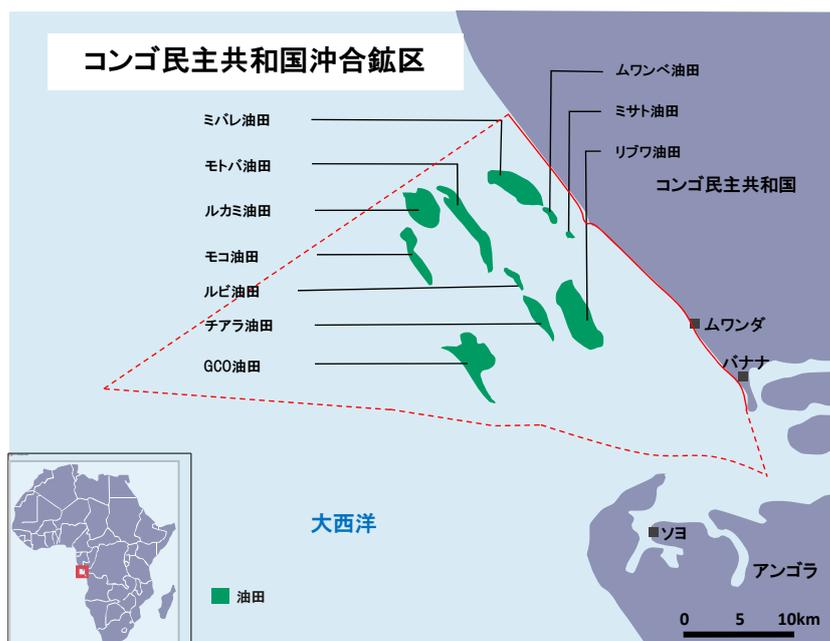
*全鉱区ベース、2018年3月平均日産量

** 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量
40

コンゴ民主共和国沖合鉱区

帝石コンゴ石油

INPEX

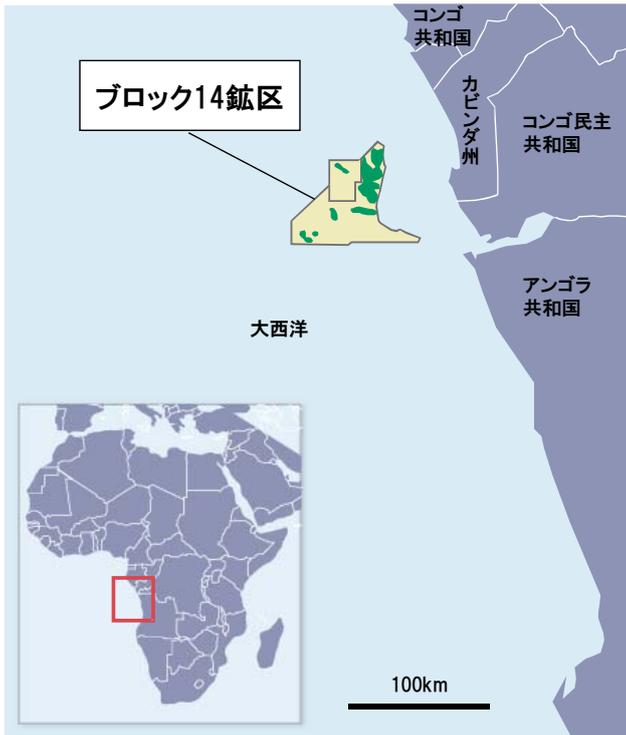


- 当社権益比率:32.28%
(オペレーター:ペレンコ)
- コンセッション契約(1969-2043年)
- 生産開始:1975年
- 生産量*:日量約1.3万バレル

* 全鉱区ベース、2018年3月平均日産量

アンゴラ共和国沖合ブロック14鉱区 INPEX Angola Block14 Ltd.

INPEX



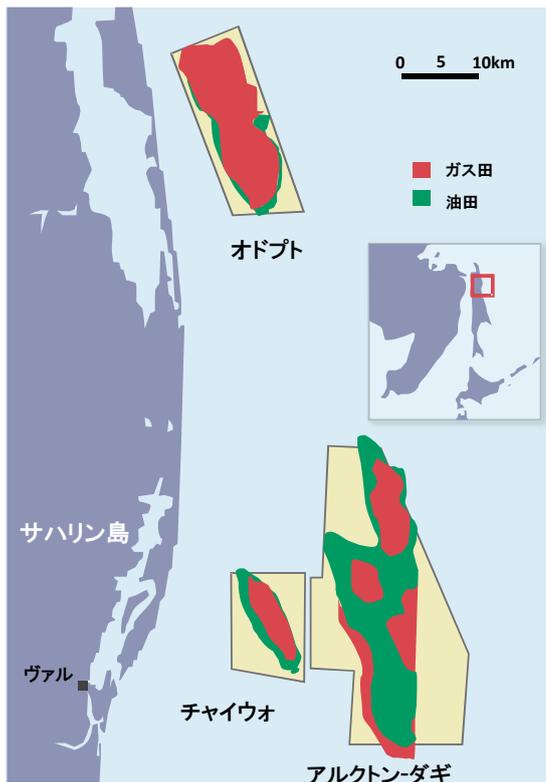
- 当社権益比率:9.998%(オペレーター: Chevron)
- 生産量*: 日量約7.5万バレル
- PS契約:
 - Kuito DA: 2023年まで
 - BBLT DA: 2027年まで
 - TL DA: 2028年まで
 - Lianzi: 2031年まで

* 全鉱区ベース、2018年3月平均日産量

42

サハリン-1 サハリン石油ガス開発

INPEX



- サハリン石油ガス開発(SODECO):当社保有株式約6.08%
- SODECOのサハリン-1における権益比率: 30.0%
- オペレーター: Exxon Neftegas Limited
- PSA: 開発期間は2021年12月まで
- 2005年10月、チャイウオより生産開始、2006年10月原油輸出開始
- 2010年9月、オドプトより生産開始
- 2015年1月、アルクトン・ダギより生産開始
- 天然ガスをロシア国内に供給中

43

東シベリアINKプロジェクト

日本南サハ石油

INPEX



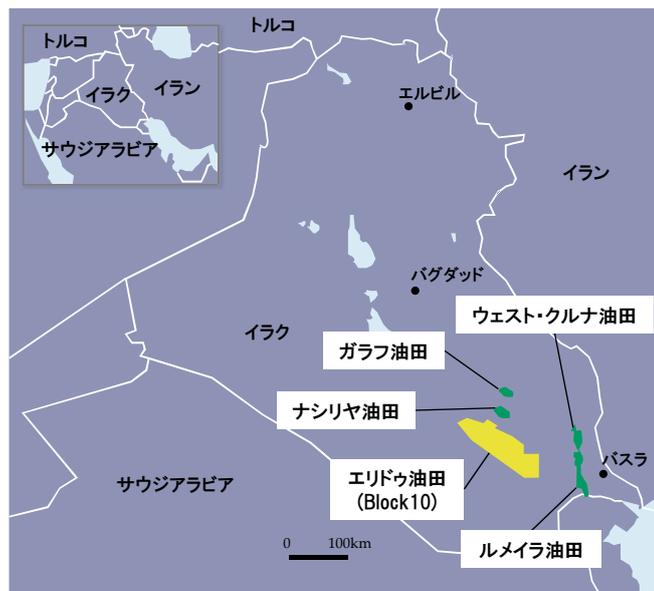
- 日本南サハ石油(JASSOC):当社保有株式約25.16%
- JASSOCの東シベリアINKプロジェクト(INK ZAPAD社への出資)における株式保有: 49.0%
- 生産量*:原油日量約4.8万バレル
- オペレーター: INK ZAPAD社
- ライセンス契約: 25年間(2031年まで)
- 2014年11月、イチョディンスコエ油田より生産開始

* 全鉱区ベース、2018年3月平均日産量

イラク エリドウ油田(Block 10)

インペックス南イラク石油

INPEX



イラクBlock10ロケーション

- 当社権益比率:40%
(オペレーター:ルクオイル)
- 鉱区取得:2012年12月
(イラク共和国第4次公開入札)
- EDPSC*: 探鉱期間 - 9年間**
(2021年12月2日まで)
開発生産期間 - 20年間***
- 2017年2月、試掘第1号井において油層を発見。その後、評価井2坑を掘削し、それぞれで油層の広がりを確認した。
- 油層が鉱区外へ伸長していると予測されたため、鉱区エリアの拡張申請を提出し、2017年11月に承認された。
- 商業開発の可能性を検討するため、探鉱および評価作業を実施中。

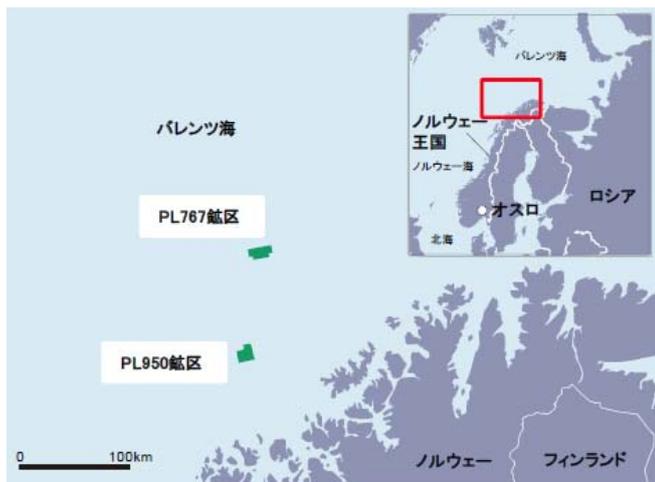
* 探鉱、開発、生産サービス契約

** 更なる探鉱・評価作業を実施するため、EDPSCに基づき、探鉱期間を4年間延長。

***開発・生産期間は5年間の延長が可能。

ノルウェー領大陸棚プロジェクト INPEX Norge AS

INPEX



バレンツ海西部PL767鉱区

- 当社権益比率:40%
(オペレーター:Lundin Norway AS)
- 鉱区取得:2017年1月1日
- コンセッション契約:探鉱・評価期間8年間
(2023年まで1年延長済み)
開発生産期間25年間
- 2017年11月:Bayerngas Norge AS社から取得

バレンツ海西部PL950鉱区

- 当社権益比率:30%
(オペレーター:Lundin Norway AS)
- 鉱区取得:2018年3月2日
- コンセッション契約:探鉱・評価期間7年間
開発生産期間25年間
- 2017年8月:2017APAラウンドにおいて
Lundin Norway AS社と共に共同入札

46

主要会社一覧及び石油契約①*

INPEX

会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
日本					
・ 国際石油開発帝石	南長岡ガス田ほか**	日本	コンセッション	-	生産中
アジア/オセアニア					
・ インベックス南マカッサル石油	セブク鉱区(ルビーガス田)	インドネシア	PS	100%	生産中
・ MI Berau B.V.	ベラウ鉱区(タンゲーLNG)	インドネシア	PS	44%	生産中
・ インベックスマセラアラフラ海石油	マセラ鉱区(アバディLNG)**	インドネシア	PS	51.9%	開発準備作業中
・ サウル石油	バユ・ウンダン	チモール海共同開発地域	PS	100%	生産中
・ INPEX Browse E&P Pty Ltd	WA-285-P**ほか	オーストラリア	コンセッション	100%	探鉱作業中
・ INPEX Ichthys Pty Ltd	WA-50-L及びWA-51-L(イクシス) **	オーストラリア	コンセッション	100%	開発中
・ Ichthys LNG Pty Ltd	イクシスプロジェクト下流事業**	オーストラリア	-	62.245%	開発中
・ INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd	プレリユードFLNGプロジェクト	オーストラリア	コンセッション	100%	開発中
・ アルファ石油	ヴァンゴッホ油田/コニストンユニット	オーストラリア	コンセッション	100%	生産中
・ アルファ石油	ラベンスワース油田	オーストラリア	コンセッション	100%	生産中

注: * 2018年3月末時点
** オペレータープロジェクト

47

主要会社一覧及び石油契約②*



会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
ユーラシア					
・インベックス南西カスピ海石油	ACG油田	アゼルバイジャン	PS	51%	生産中
・インベックス北カスピ海石油	カシャガン油田	カザフスタン	PS	51%	生産中
中東					
・ジャパン石油開発	上部ザクム油田等	アラブ首長国連邦	コンセッション	100%	生産中
・JODCO Lower Zakum Limited	下部ザクム油田	アラブ首長国連邦	コンセッション	100%	生産中
・JODCO Onshore Limited	ADCO鉱区	アラブ首長国連邦	コンセッション	51%	生産中
アフリカ					
・帝石コンゴ石油	コンゴ民主共和国沖合鉱区	コンゴ民主共和国	コンセッション	100%	生産中
・INPEX Angola Block14	アンゴラ共和国沖合ブロック14鉱区	アンゴラ共和国	PS	100%	生産中
米州					
・INPEX Gas British Columbia	カナダ シェールガスプロジェクト	カナダ	コンセッション	45.09%	生産中/評価中
・Teikoku Oil & Gas Venezuela	コパマコヤ**/グアリョリエントアル	ベネズエラ	ジョイントベンチャー	100%	生産中
・Teikoku Oil (North America)	ルシウス油田/SS72鉱区	米国	コンセッション	100%	生産中
・Frade Japão Petróleo Limitada	フラージ鉱区	ブラジル	コンセッション	37.5%***	生産中

注: * 2018年3月末時点

** オペレータープロジェクト

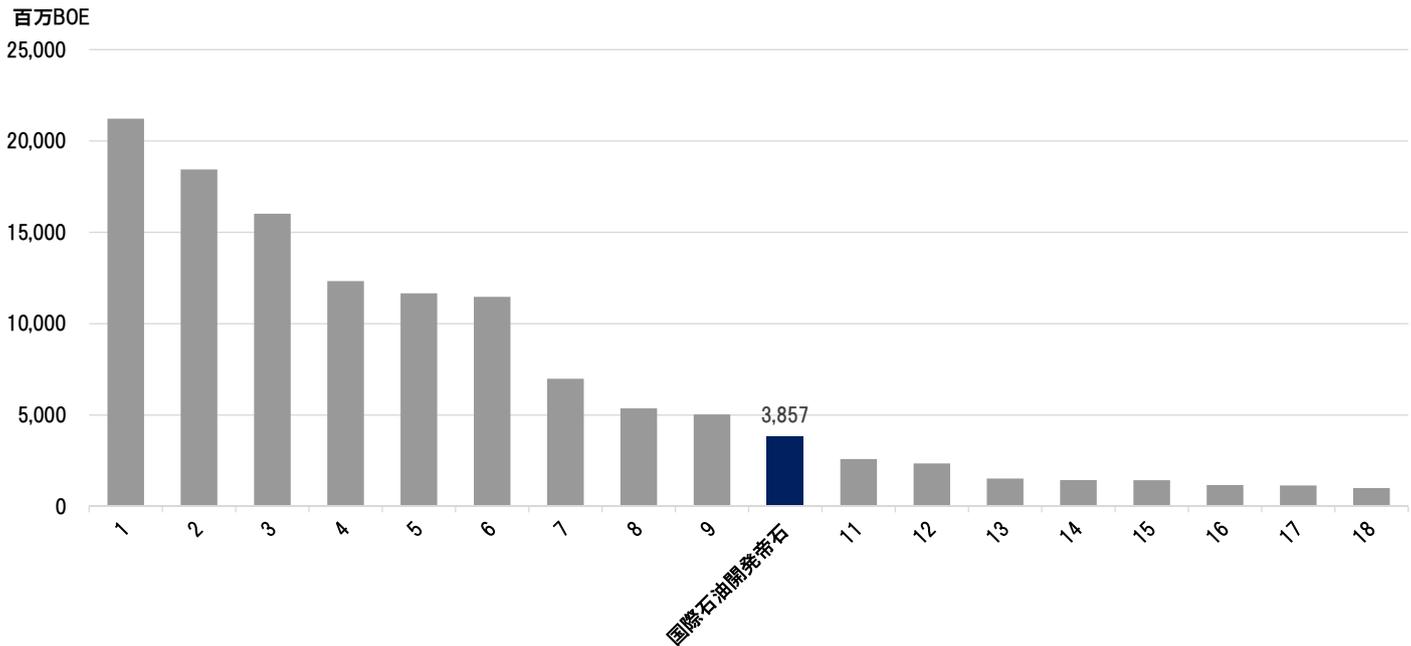
*** インベックス北カンボス沖石油(当社の持分法適用関連会社)の子会社。出資比率(37.5%)は同社を通じた当社の実質的な比率。



その他

メジャー・主要な独立系石油ガス会社との 確認埋蔵量の比較

INPEX



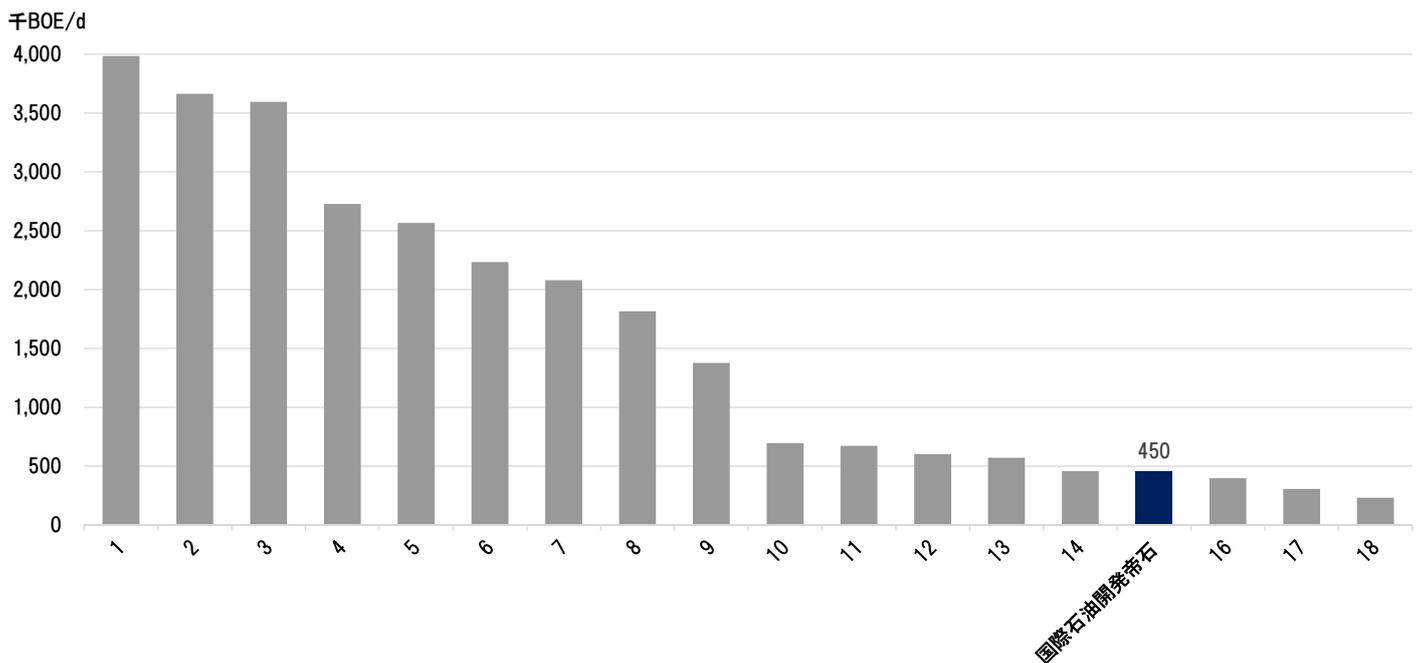
出所 下記各社の公表情報 (アルファベット順)

Anadarko, Apache, BHP Billiton, BP, Chevron, ConocoPhillips, Eni, ExxonMobil, Hess, Lukoil, Marathon Oil, Occidental Petroleum, Repsol, Shell, Statoil, TOTAL, Woodside

注 BHP Billitonは2017年6月末時点、他各社2017年12月末時点であるが、当社は米国証券取引委員会(SEC) 規則に従った2018年3月末時点での値(暫定値)。埋蔵量は、持分法適用関連会社を含む当社グループの主要なプロジェクトを対象とし、今後の開発投資が巨額であり、将来の業績への影響が大きいと考えられるプロジェクトについては、DeGolyer & MacNaughton社にて、その他については自社にて、評価・算定している。ピチューメン、合成原油等、非在来型資源を含む。

メジャー・主要な独立系石油ガス会社との 生産量の比較

INPEX



出所 下記各社の公表情報 (アルファベット順)

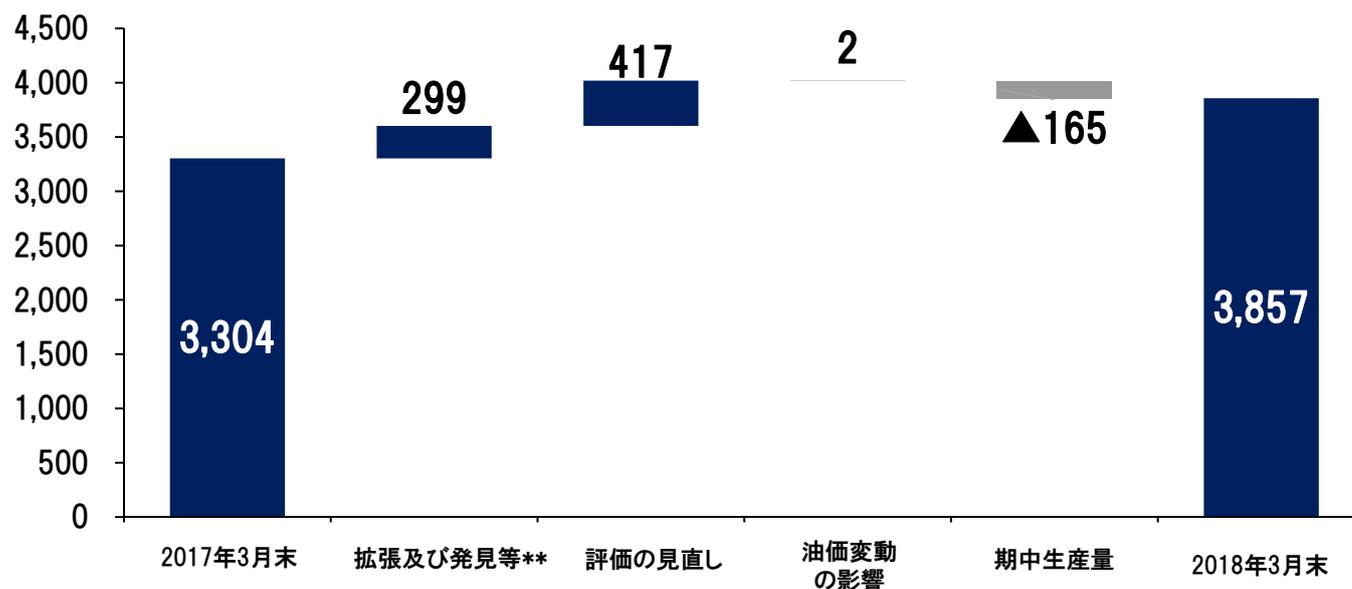
Anadarko, Apache, BHP Billiton, BP, Chevron, ConocoPhillips, Eni, ExxonMobil, Hess, Lukoil, Marathon Oil, Occidental Petroleum, Repsol, Shell, Statoil, TOTAL, Woodside

注 BHP Billitonは2017年6月期、他各社2017年12月期であるが、当社は米国証券取引委員会(SEC) 規則に従った2018年3月期の数値。ピチューメン、合成原油等、非在来型資源を含む。持分法適用関連会社の持分を含む。

確認埋蔵量*の推移の要因分析

INPEX

(百万BOE)



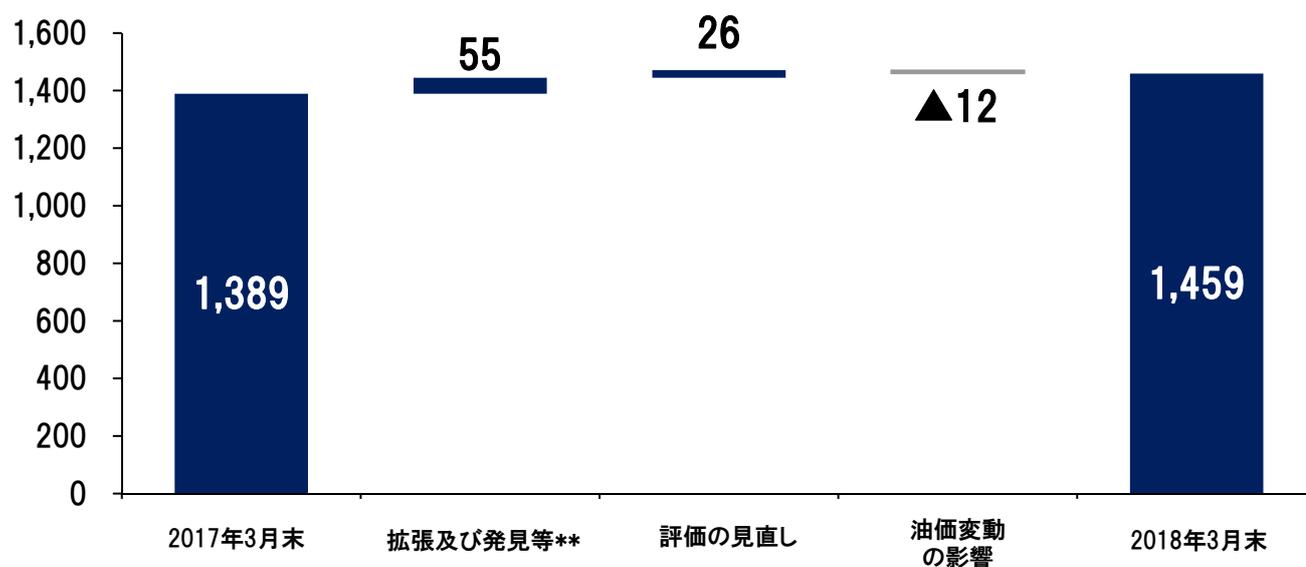
* 確認埋蔵量の定義は、54ページに記載しております。

** 買収及び売却等を含む。

推定埋蔵量*の推移の要因分析

INPEX

(百万BOE)



* 推定埋蔵量の定義は、55ページに記載しております。

** 買収及び売却等を含む。

- 確認埋蔵量(proved reserves)の定義は、米国証券取引委員会規則 S-X Rule 4-10に従っており、地質的・工学的データに基づき、現在の経済条件及び操業条件の下で、契約期限までの間に合理的な確実性をもって回収することが可能である石油・ガスの数量(estimated quantities)とされております
- 確認埋蔵量に分類されるためには、炭化水素を採取するプロジェクトが開始されているか、妥当な期間内にプロジェクトを開始する合理的な確実性がなければならず、石油・ガス業界で用いられる埋蔵量の定義の中でも保守的な数値として広く認識されております
- 確率論的手法を用いて確認埋蔵量を算定する場合には、確認埋蔵量(1P)を回収できる確率が90%以上であることが必要とされています
- また、米国証券取引委員会規則の定義による確認埋蔵量は、既存の坑井、施設及び操業方法を利用して回収することができる確認開発埋蔵量(proved developed)と将来掘削される坑井を利用して回収することができる確認未開発埋蔵量(proved undeveloped)の二つに区分されております

54

推定埋蔵量の定義

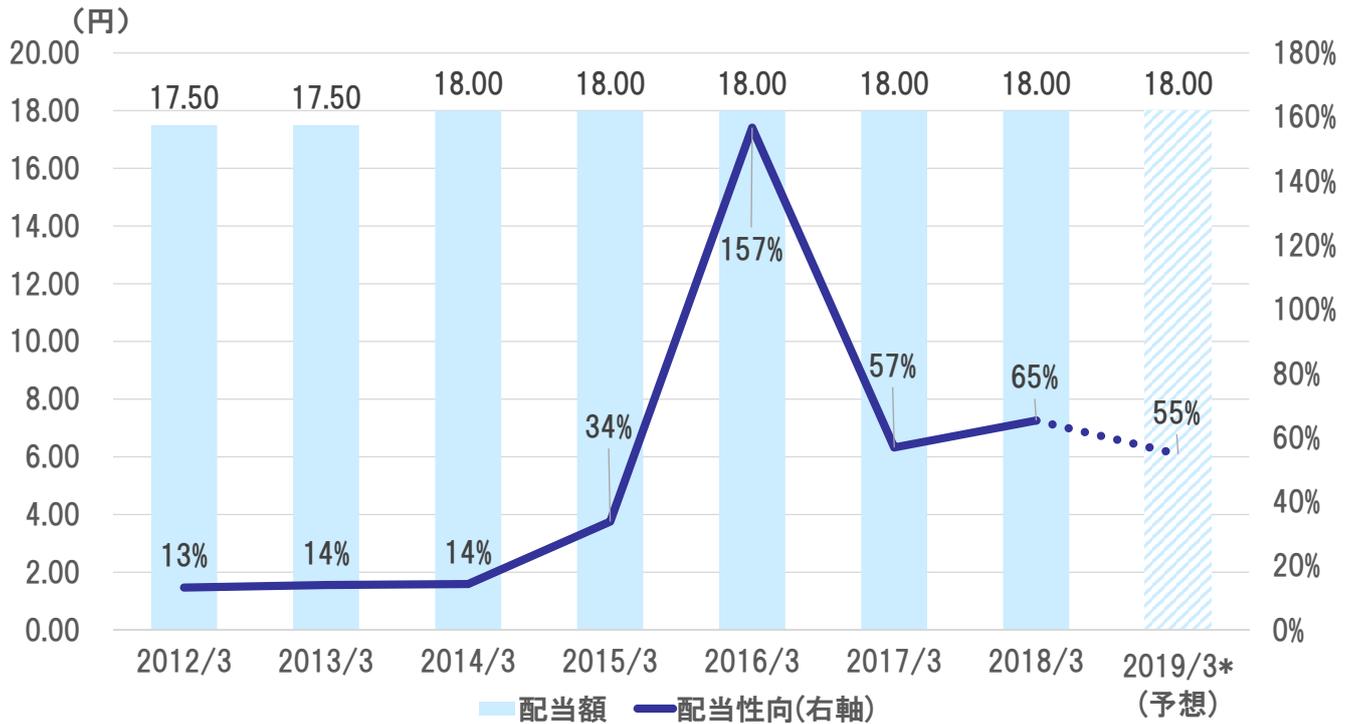
- 推定埋蔵量(probable reserves)の定義は、石油技術者協会(SPE)が世界石油会議(WPC)・米国石油地質技術者協会(AAPG)・石油評価技術者協会(SPEE)の支援の下に策定した基準(2007PRMS)に従っており、地質的・工学的データに基づき、確認埋蔵量に追加して商業的に回収することが可能と推定される石油・ガスの数量とされており、回収可能性の高さによって推定埋蔵量に分類されます
- 確率論的手法を用いて推定埋蔵量を算定する場合には、確認埋蔵量と推定埋蔵量を合計した数量(2P)を回収できる確率が50%以上であることが必要とされています

※推定埋蔵量の全量が確認埋蔵量と同様な確実性をもって開発・生産されると見込まれるわけではありません

※従来予想埋蔵量の値を開示していましたが、国内外同業他社の開示範囲等を勘案し、今回より数値を非開示としております。

55

当社の一株当たり年間配当額、配当性向の推移 INPEX



注(*) イクシスLNGプロジェクトからの生産及び出荷後、記念配当として1株当たり年間6円の増配を実施する方針

CSRトピックス INPEX

✓ 6つのCSR重点テーマを中心に、事業を通じてESG各分野で責任ある取り組みを推進

<CSR重点テーマ>

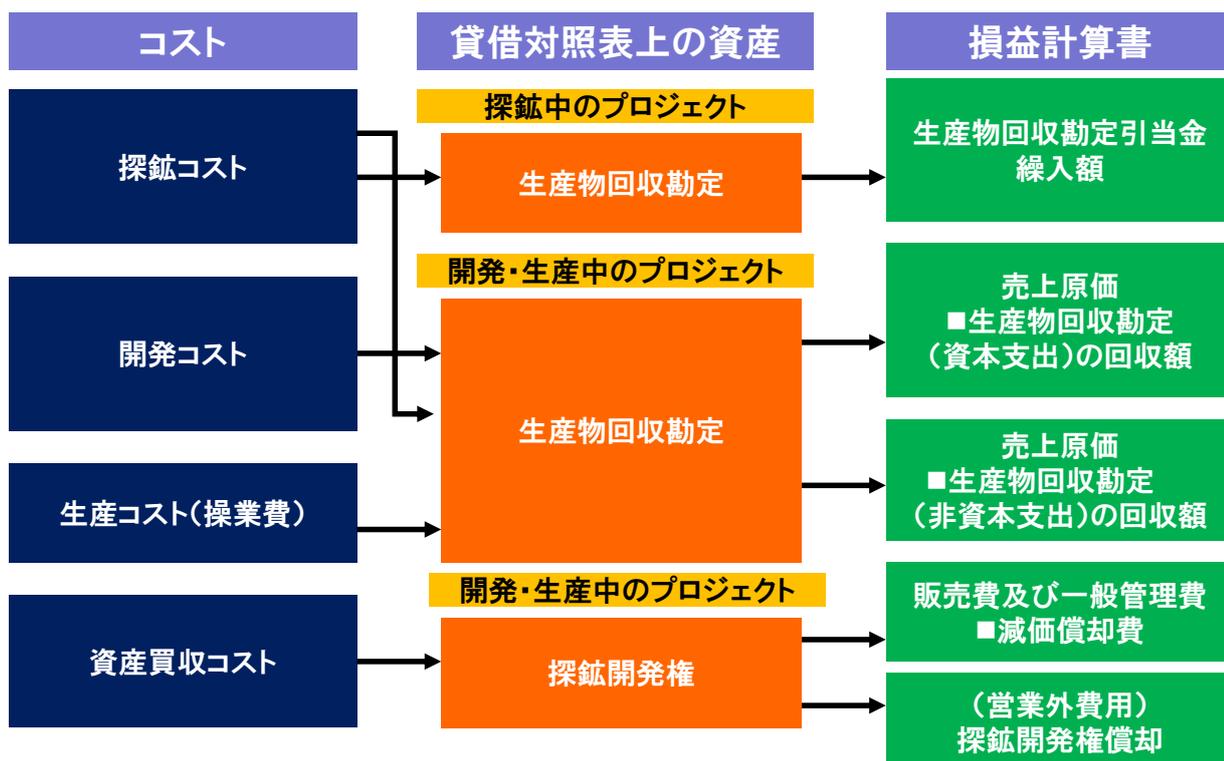
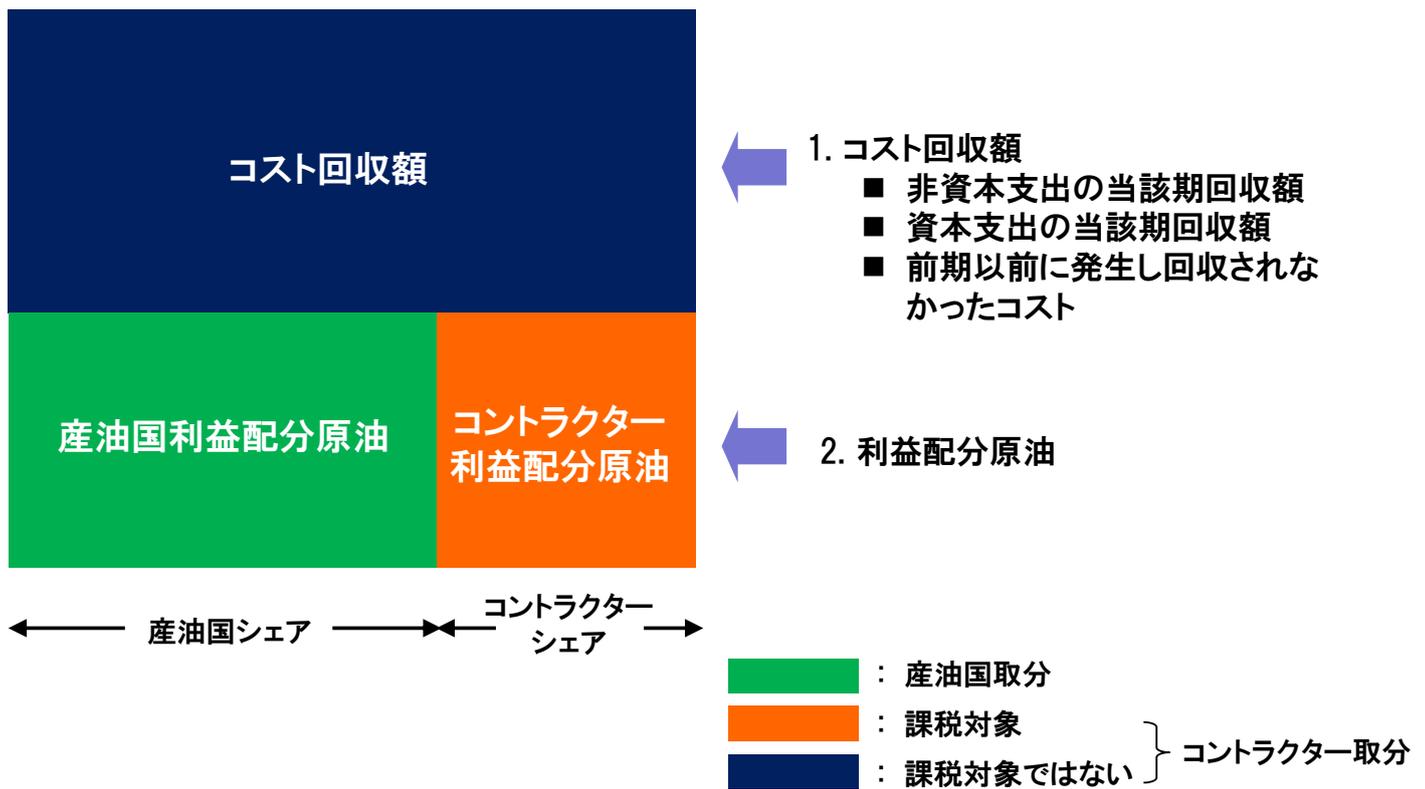


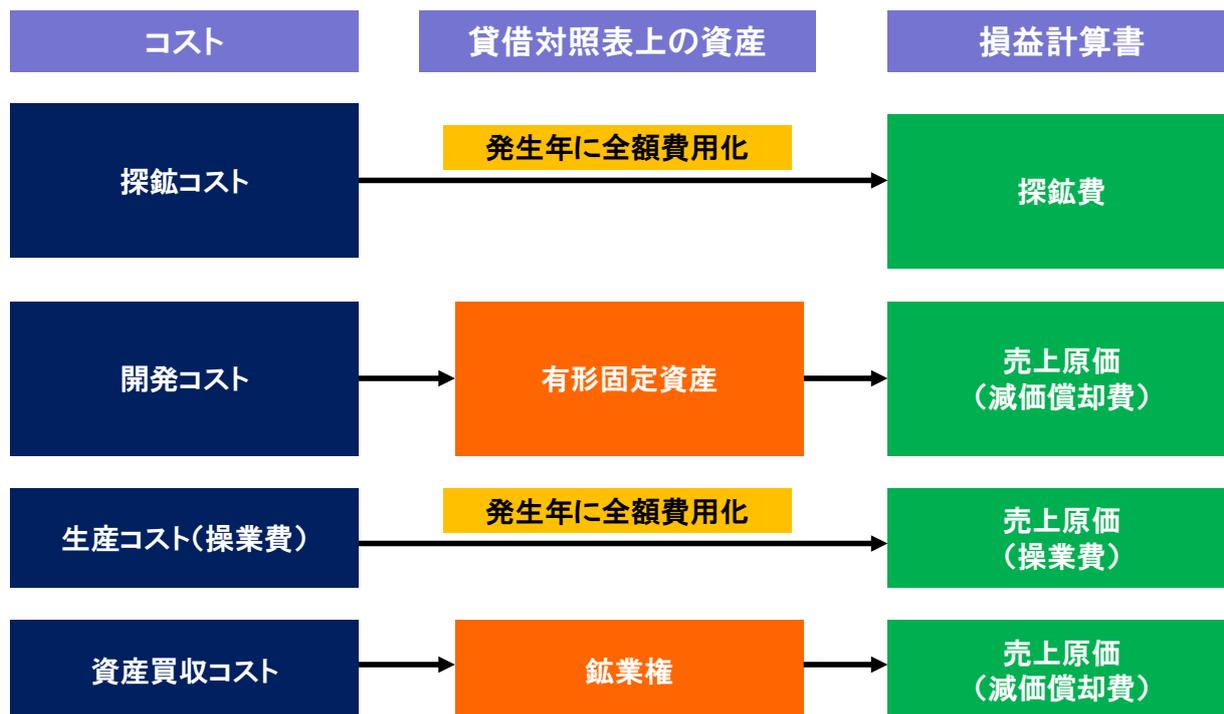
人権尊重に対する当社グループの姿勢を包括的に明示するため、国連のビジネスと人権に関する指導原則に則して、2017年5月に人権方針を策定。

プロジェクト経済性評価におけるリスク評価手法として、2017年10月よりインターナルカーボンプライスの適用を開始。

<主要ESGインデックスへの組入れ状況>

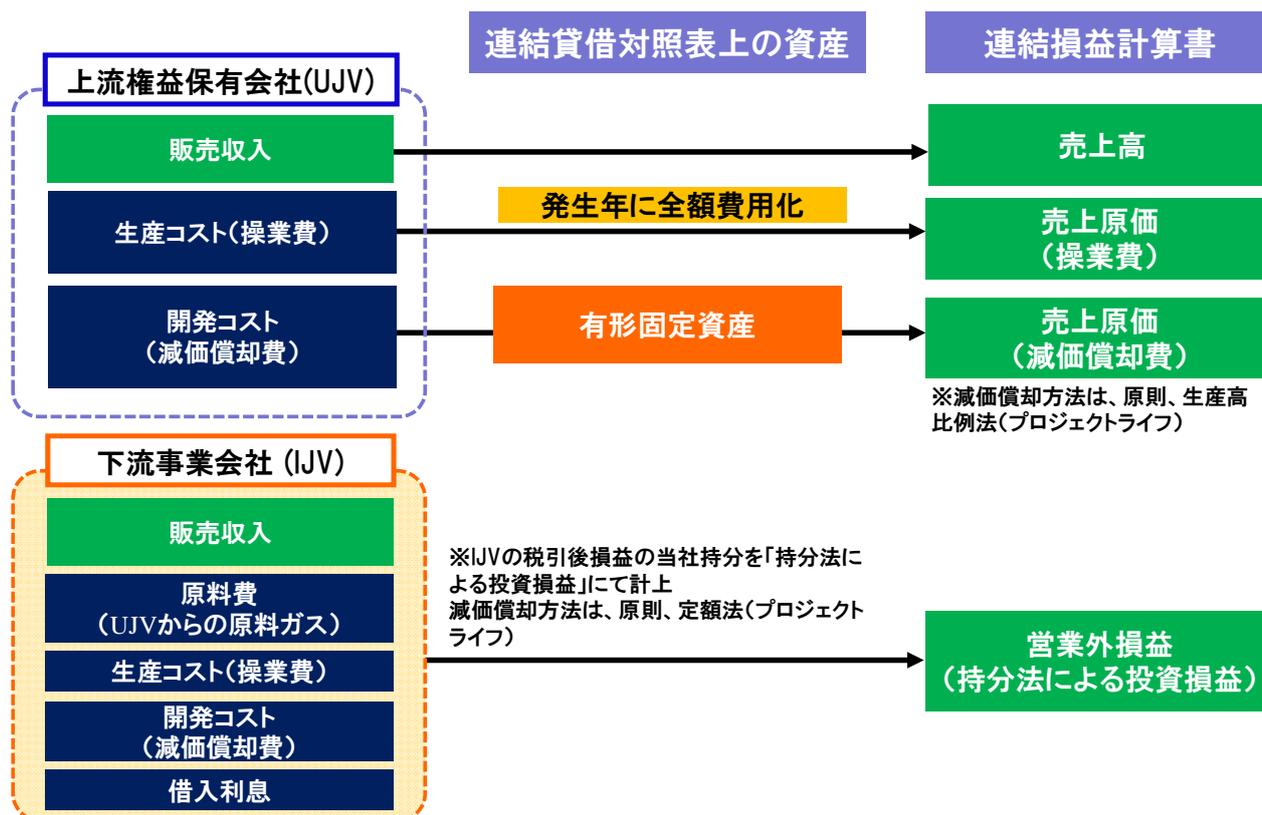
Dow Jones Sustainability Index	当社は米国のS&P Dow Jones社と、スイスのRobecoSAM社が選定する社会的責任投資の代表的指数の一つである「Dow Jones Sustainability World Index(DJSI World)」に採用されています。
FTSE	当社はFTSE Russell社が選定するFTSE4Goodインデックスシリーズのうち、Global IndexとJapan Indexおよび年金積立管理運用独立行政法人(GPIF)が運用対象とするESG指数であるFTSE Blossom Japan Indexに選定されています。
MSCI	当社は米国のMSCI (Morgan Stanley Capital International) 社が開発した、ESG面で優れた企業を選定する代表的な株価指数であるMSCI SRI Indexes, MSCI ESG Leaders Indexes, および年金積立管理運用独立行政法人(GPIF)が運用対象とするESG指数であるMSCIジャパンセレクト・リーダーズ指数に選定されています。





イクシスLNGプロジェクトの会計処理(概略図)

※ イクシスLNGプロジェクトの生産時。コストは主なもの。



豪州税制の概要

※ 本スライドの記載内容については、今後税制の改正等に伴い変更の可能性があります。

